

經 營 學 部

履 修 要 項

昭 和 61 年 度

駒 澤 大 學

# 学 年 暦

## 前 期

- 4月8日(火) 入学式(学部・短大)
- 7日(月) } 新入生オリエンテーション
- 11日(金) }
- 9日(水) }
- 10日(木) } 在校生成績発表(学部・短大)
- 9日(水) }
- 19日(土) } 在校生身分登録(学部・短大)
- 10日(木) } 体育実技Ⅱ種目選択届受付
- 11日(金) } (学部2年次生)
- 12日(土) 前期授業開始
- 12日(土) }
- 19日(土) } 成績質疑応答
- 21日(月) }
- 24日(木) } 履修届受付(学部・短大)
- 24日(木) } (学部により受付日が異なる)
- 5月13日(火) } 春季健康診断
- 22日(木) } (2・3・4年次生対象)
- 26日(月) } 卒業論文論題受付
- 6月10日(火) } (締切日は正午まで)
- 7月5日(土) } 外国語指定届受付(仏教・文(除英
- 11日(金) } 米文)・法学部・短大国文・英文の
- 7月10日(木) } 1年次生及び経済学部の2年次生)
- 16日(水) } 中間試験(授業平常通り)
- 16日(水) 前期授業最終日
- 17日(木) } 前期定期試験(前期終了科目)
- 18日(金) } (授業休講)
- 19日(土) 夏季休暇第1日
- 19日(土) } 体育実技Ⅱ集中授業・シーズンコース
- 23日(水) } (テニスA)
- 24日(木) } (学部2年次生)
- 24日(木) } 体育実技Ⅱシーズンコース
- 28日(月) } (テニスB)
- 28日(月) } (学部2年次生)

## 後 期

- 9月8日(月) } 補講期間
- 13日(土) }
- 12日(金) 前期定期試験欠試届(追試申込)
- 12日(金) 受付締切

- 16日(火) 後期授業開始
- 17日(水) }
- 18日(木) } 前期定期試験成績発表及び
- 25日(木) } 再試験申込受付
- 30日(火) } 前期追・再試験(授業平常通り)
- 10月1日(水) }
- 3日(金) } 秋季健康診断(1年次生対象)
- 3日(金) }
- 4日(土) } 専攻コース指定届受付
- 13日(月) } (歴史・社会学科1年次生)
- 14日(火) }
- 15日(水) } 前期追・再試験成績発表
- 11月12日(水) } 第104回開校記念日(全学休業)
- 14日(金) }
- 28日(金) } 転部科試験願書受付
- 12月4日(木) } 転部科試験
- 12日(金) } 編入学試験願書受付
- 10日(水) } 卒業論文受付締切(正午)
- 19日(金) } 冬季休暇第1日
- 19日(金) }
- 23日(火) } 体育実技Ⅱ集中授業コース
- 22日(月) } (学部2年次生)
- 22日(月) 編入学試験

## 昭和62年

- 1月8日(木) 後期授業再開
- 14日(水) 後期授業最終日
- 16日(金) }
- 27日(火) } 定期試験(専門・基礎・教職科目)
- 28日(水) }
- 2月5日(木) } 定期試験(一般・外国語・保健体育
- 6日(金) } 科目)
- 6日(金) 卒業論文口頭試問
- 7日(土) 定期試験欠試届(追試申込)受付締切
- 16日(月) } 体育実技Ⅱシーズンコース
- 20日(金) } (スキーA・B)(学部2年次生)
- 19日(木) }
- 20日(金) } 成績発表及び追・再試験申込受付
- 25日(水) } (学部4年次生・短大生)
- 3月3日(火) } 追・再試験(学部4年次生・短大生)
- 19日(木) } 追試験(学部1・2・3年次生)
- 25日(水) } 卒業式(学部・短大)

# 目 次

I	単位制と学年制	(2)
1.	単位制と学年制	(2)
2.	授業科目の単位計算	(2)
3.	授業科目の区分	(2)
II	卒業に必要な単位数と学士号	(3)
1.	卒業に必要な単位数	(3)
2.	学 士 号	(4)
III	授業科目の履修方法	(5)
1.	一般教育科目の履修方法	(5)
2.	外国語科目の履修方法	(6)
3.	保健体育科目の履修方法	(9)
4.	基礎教育科目の履修方法	(10)
5.	専門教育科目の履修方法	(10)
6.	随意科目の履修方法	(12)
7.	再履修科目の履修方法	(12)
	※コード番号について	(13)
IV	履修科目の登録(履修届)とその作成順序	(15)
1.	履修科目の登録	(15)
2.	履修届記入上の注意	(16)
3.	履修届の作成順序	(17)
V	試験および成績評価	(18)
1.	定期試験	(18)
2.	中間試験	(18)
3.	追・再試験	(18)
4.	受験心得	(19)
5.	成績評価・単位認定	(19)
6.	試験時間	(19)
VI	進級について	(20)
VII	クラス制およびクラス主任	(21)
VIII	教職課程・資格講座	(21)
IX	事務取扱いについて	(22)
X	届書・願書について	(23)
XI	各種証明書取扱い窓口	(24)
	試験実施規程(抜萃)・進級規程・進級基準	(25)
	講 義 内 容	(29)

# I 単位制と学年制

## 1. 単位制と学年制

授業科目の履修は「大学設置基準」に基づく単位制によって行う。単位制とは、各入学年度によって定められた一定の基準にしたがって授業科目を履修し、試験に合格することによってその授業科目に与えられている単位を修得していく制度である。卒業所要単位を修得するまでの在学期間は4年以上（7カ年をこえてはならない）である。

また、単位の修得を体系的かつ合理的に進めるために、各年次において必修すべき科目と選択すべき科目が配当されている。

## 2. 授業科目の単位計算

授業科目の単位数は次のような基準によって定められている。

1 単位とは1科目につき45時間を通じて行う学修活動のことである。この45時間の学修活動は教室内における授業時間と教室外で学生各自が自主的に行う自習時間からなっていて、授業時間と自習時間の割合は、授業科目によって異なっている。

## 3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

1. 一般教育科目（人文分野・社会分野・自然分野）
2. 外国語科目（第1外国語・第2外国語）
3. 保健体育科目（講義・実技）
4. 基礎教育科目（必修科目）
5. 専門教育科目（必修科目・選択科目）
6. 随意科目（卒業に必要な単位に含まれない科目）

(a) 必修科目……必ず履修しなければならない科目

(b) 選択必修科目……数科目の中から所定の科目数または単位数を選び、必ず履修しなければならない科目

(c) 選択科目……自由に選び履修できる科目

## Ⅱ 卒業に必要な単位数と学士号

### 1. 卒業に必要な単位数

#### A. 60年度以降入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	16	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	2	2		
基礎教育科目		2	8	8	
専門教育科目	必修	3	12	78	
	選択	17	66		

#### B. 58～59年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	16	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		2	8	8	
専門教育科目	必修	3	12	78	
	選択	17	66		

C. 56～57年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	16	
	第2外国語	4	8		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	3	12	82	
	選択	18	70		

D. 53～55年度入学生適用

授業科目の区分		科目数	修得単位	計	合計
一般教育科目	人文分野	4	16	36	} 142以上
	社会分野	3	12		
	自然分野	2	8		
外国語科目	第1外国語	4	8	14	
	第2外国語	3	6		
保健体育科目	講義	1	2	4	
	実技	1	2		
基礎教育科目		1	4	4	
専門教育科目	必修	4	14	84	
	選択	18	70		

## 2. 学 士 号

大学に4カ年以上（7カ年をこえてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には卒業証書を授与し、経営学士の称号が与えられる。

### Ⅲ 授業科目の履修方法

※北海道教養部では授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

#### 授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は教授会の定めるところに従い各学年に配分する。ただし随意科目はこの限りではない。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が指定された科目は本人の学生番号のクラスで履修すること。（再履修または指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない）
- ハ. 各学年に配分された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年で履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低および最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修しても認定されない。

#### 1. 一般教育科目の履修方法

人文分野 4単位ずつ4科目 計16単位  
 社会分野 4単位ずつ3科目 計12単位 } 合計 9科目 36単位  
 自然分野 4単位ずつ2科目 計8単位 }

※2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

分野	授業科目	単位	履修科目数	修得単位	計	備考
人文分野	宗 教 学 I (1年次必修)	4	「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」 の2科目を含 めて4科目選 択必修	16	36	
	宗 教 学 II (2年次必修)	4				
	哲 学	4				
	論 理 学	4				
	倫 理 学	4				
	文 史 学	4				
社会分野	法 学 憲 法 (日本国憲法2単位を含む)	4	3科目選択 必修	12	36	教員免許状を取 得しようとする ものは「法学憲 法」を必修とす る
	社 会 学 (2年次)	4				
	地 理 学	4				
	統 計 学 (2年次)	4				
自然分野	文 化 人 類 学	4	2科目選択 必修	8	36	
	自 然 科 学 概 論	4				
	数 学	4				
	心 理 学 (2年次)	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は木曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。

## 2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6カ国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した外国語の2カ国語を履修することになり、その2カ国語を1年次および2年次において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。ただし、56年度以降入学生は第1外国語が英語、第2外国語は他の外国語となる。

履修年次	第1外国語		第2外国語	
	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2科目	4	2科目	4
2年次	2科目	4	2(1)科目	4(2)
計	4科目	8	4(3)科目	8(6)

※( )内の数字は55年度以前入学生適用

### 1年次の履修

6カ国語のうち英語1G・1Rの2科目と入学手続の際に指定した外国語1G・1Rの2科目の計4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数	備考
英語 1G	2		1G・1R 2科目を必修とする。ただし1Gは英会話Iまたは英語LLIに代替できる。	LLI (ランゲージ・ラボラトリー)
英語 1R	2			
英会話 I	2			
英語 LLI	2	視聴覚教材を使用した語学教育		
ドイツ語 1G	2	文法	5カ国語のうちから入学手続の際指定した1カ国語1G・1Rの2科目を必修とすること。	
ドイツ語 1R	2	講読		
フランス語 1G	2	文法		
フランス語 1R	2	講読		
中国語 1G	2	文法		
中国語 1R	2	講読		
スペイン語 1G	2	文法		
スペイン語 1R	2	講読		
ロシア語 1G	2	文法		
ロシア語 1R	2	講読		

### ※英語科目内容

英語 1G：意志表現と意志伝達の基礎を把握する。

英語 1R：講読を通し内容と文構造の基本を把握する。

※「英語 1R」の授業は木曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の学生手帳を参照）で行う。



## 2年次の履修

### A. 56年度以降入学生適用

1年次で履修の2カ国語を、それぞれ2科目ずつ計8単位必修とする。

#### 第1外国語（英語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	備 考
英 語 2 A I	2	
英 語 2 A II	2	

#### ※英語科目内容

英語2 A I：講読を通し、はば広い教養を修得する。

英語2 A II：意志表現と意志伝達の能力を發展させ、応用力を修得する。

#### 第2外国語（1年次で履修の英語以外の1カ国語を2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
ド イ ツ 語 2 A I	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A I	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A II	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A II	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A I	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A I	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A II	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A II	2	講 読
中 国 語 2 A I	2	講 読			
中 国 語 2 A II	2	講 読			

### B. 55年度以前入学生適用

1年次で履修の2カ国語のうち、いずれかを第1外国語とし、2 A I・2 A IIの2科目4単位、他方を第2外国語として2 Bを1科目2単位、計3科目6単位を必修とする。

#### 第1外国語（指定した外国語の2 A I・2 A IIの2科目4単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 A I	2	講 読	中 国 語 2 A I	2	講 読
英 語 2 A II	2	講 読	中 国 語 2 A II	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A I	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A I	2	講 読
ド イ ツ 語 2 A II	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 A II	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A I	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A I	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 A II	2	講 読	ロ シ ア 語 2 A II	2	講 読

第2外国語（指定した外国語の2Bを1科目2単位必修）

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 2 B	2	講 読	中 国 語 2 B	2	講 読
ド イ ツ 語 2 B	2	講 読	ス ペ イ ン 語 2 B	2	講 読
フ ラ ン ス 語 2 B	2	講 読	ロ シ ア 語 2 B	2	講 読

外国語科目履修上の注意

- イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号（下4ケタ）により該当するクラスを履修すること。
- ロ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。
- ハ. 不合格科目の再履修については、別に定める。
- ニ. 2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

### 3. 保健体育科目の履修方法

カリキュラム改訂に伴い、昭和60年度以降入学生より新カリキュラムを適用する。なお、昭和59年度以前入学生は、旧カリキュラムが適用される。

#### A. 60年度以降入学生適用

講義と実技に分かれる。講義は1年次に1科目2単位、実技は1年次1科目1単位〈体育実技Ⅰ〉、2年次1科目1単位〈体育実技Ⅱ〉の3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期または後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期または後期

イ. 講義・体育実技Ⅰは玉川校舎で授業を行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※体育実技Ⅰについての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は、教務部にそれぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期または後期の体育実技Ⅱの授業

B. 前期(夏季休暇中)または後期(冬季休暇中)に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期(夏季休暇中)または後期(冬季休暇中)に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コース及び集中授業等の申込み方法については、教務部より配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

#### B. 59年度以前入学生適用

講義と実技に分かれ、1年次に2科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	前期または後期
実 技	体 育 実 技	2	通 年

イ. 講義・実技とも1年次で不合格となった者は「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

ロ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

ハ. 講義・実技とも1年次生は玉川校舎で授業を行う。

※実技についての種目の説明等で、1年次生は最初の授業・「再履修クラス」を履修する場合は教務部にて、それぞれ配布される「体育実技受講要領」を参照すること。

#### 4. 基礎教育科目の履修方法

##### A. 58年度以降入学生適用

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次2科目8単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	
	経営学概説	4	

##### B. 57年度以前入学生適用

専門教育科目の基礎となる授業科目で1年次1科目4単位を必修とする。

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	経済学概説	4	

#### 5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目に分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

##### 必修科目

A. 56年度以降入学生適用 3科目12単位

B. 53～55年度入学生適用 4科目14単位

1年次必修			2年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
簿記学	4	旧：簿記	経営学	4	
プロゼミ I	2	55年度以前の入学生のみ必修	会計学	4	

選択科目

- A. 58年度以降入学生適用（66単位以上）
- B. 56～57年度入学生適用（70単位以上）
- C. 53～55年度入学生適用（70単位以上）

1 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択			3・4 年 次 選 択		
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
プロゼミⅠ	2	※	アメリカ経営学	4		経営分析論	4	
2 年 次 選 択			経営財務論	4		税務会計論	4	
経 営 史	4		経営労務論	4		会計監査論	4	
経営管理論	4		経営組織論	4		証券市場論	4	
企業形態論	4		経営技術論	4		商 業 史	4	
プログラミング論	4		経営情報論	4		経 済 政 策	4	
原価計算論	4		経 営 科 学	4		財 政 学	4	
経 済 原 論	4		公益企業論	4		金 融 論	4	
近代経済学	4		マーケティング論	4		国際経済論	4	
日本経済史	4		商業経営論	4		国際金融論	4	
統 計 原 論	4		保険経営論	4		日本経済論	4	休 講
民 法 Ⅰ	4		銀行経営論	4		民 法 Ⅱ	4	
プロゼミⅡ	2		貿易経営論	4		外 書 講 読	4	
3 年 次 選 択			日本経営史	4		4 年 次 選 択		
商 法 Ⅰ	4		経営統計	4		商 法 Ⅱ	4	
演 習 Ⅰ	4		上級簿記	4		労 働 法	4	
3・4 年 次 選 択			財務会計論	4		演 習 Ⅱ	4	
経営学史	4		管理会計論	4				

※ 55年度以前の入学生はプロゼミⅠを必修とする。

## 6. 随意科目の履修方法

随意科目は各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることができない。なお、日本語Fは外国人留学生のみを対象とする科目で1年次生より履修できる。

授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考
比較思想特講	4		日 本 語 F	2	(初級・中級)
英 会 話 II	2		英 語 L L II	2	
ド イ ツ 語 F	2		ド イ ツ 語 F L L	2	(初級・中級)
フ ラ ン ス 語 F	2		フ ラ ン ス 語 F L L	2	(初級・中級)
中 国 語 F	2		中 国 語 F L L	2	(初級・中級)
ス ペ イ ン 語 F	2		ス ペ イ ン 語 F L L	2	(初級・中級)
ロ シ ア 語 F	2		ロ シ ア 語 F L L	2	(初級・中級)

## 7. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目（受験しなかった科目を含む）を翌年度に再度履修することをいう。この場合授業科目名が同じであれば担任教員に変更があっても同一科目の再履修となる。

ロ. 翌年度に再履修しないで翌々年度以降に履修する場合は新履修とみなして制限科目数内で履修しなければならない。（休学の場合も同様）

ハ. 再履修の授業科目は、新履修の授業科目と同時に届出なければならない。

ニ. プロゼミ I（55年度以前の入学生）の再履修については次のとおり。

「プロゼミ I」を再履修するものは、授業時間表の中から任意のクラスでそれぞれ履修すること。  
なお必修コード番号は授業時間表の〔注意〕欄を参照のこと。

ホ. 外国語、体育実技 I（59年度以前入学生は体育実技）、保健体育理論および宗教学 I を再履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」（本校で授業を行う）で履修すること。ただし、原級者で同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

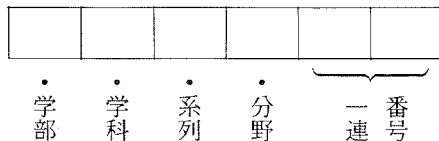
ヘ. 1年次生は再履修クラスを履修することはできない。

## ※コード番号について

### 1. 授業科目コードの設定方法

科目コードは6桁の数字とし、その各位の数字に次の意味を持たせている。

#### (a) 科目コードの区分



(b) 学部，学科番号は「学生番号について」での説明のとおりである。

(c) 系列，分野区分について

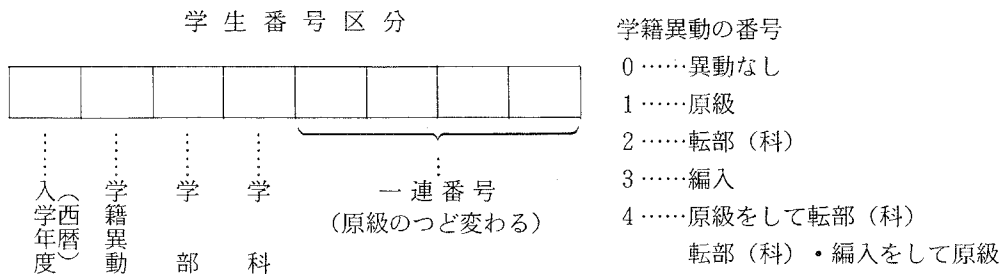
授業科目の区分	系列番号	分野番号
一般教育科目	0	
人文分野		1（必修）・2（選択）
社会分野		3
自然分野		4
基礎教育科目	1	5
外国語科目	2	
第1外国語		
第2外国語		
保健体育科目	4	
実技		1
講義		2
専門教育科目	5	
必修科目		1. 2. 3
選択科目		5. 6. 7. 8
随意科目	7	
再履修科目	8	
課程・講座科目	9	
必修科目		1
選択科目		2
教科科目		3. 4. 5. 6. 7. 8

## 2. 学生番号について

学生番号は8桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせている。

この学生番号は入学から卒業まで学籍異動（原級・転部科など）がない限り変わらない。学内での事務処理はほとんど学生番号で処理されるので、正確に覚えておくこと。

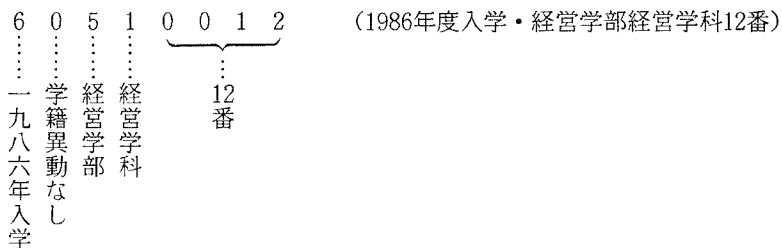
学生番号のみかた



学部・学科の番号

学部・学科名	学部番号	学科番号	学部・学科名	学部番号	学科番号
仏 教 学 部	1		法 学 部	4	
禅 学 科		1	法 律 学 科		1
仏 教 学 科		2	政 治 学 科		2
文 学 部	2		経 営 学 部	5	
国 文 学 科		1	経 営 学 科		1
英 米 文 学 科		2	短 期 大 学	8	
地 理 学 科		3	国 文 科		1
歴 史 学 科		4	英 文 科		2
社 会 学 科		5	放 射 線 科		3
経 済 学 部	3				
経 済 学 科		1			
商 学 科		2			

(例)





## IV 履修科目の登録（履修届） とその作成順序

### 1. 履修科目の登録

毎学年次所属する学科，学年に開講されている授業科目の中から履修を希望する科目を授業時間表より選び，所定の「単位履修届」用紙に必要事項を記入し届出ることにより，通年（または半期）授業を受けることができる。

I) 各年次において履修できる最高授業科目数（制限科目数）は次表のとおりとする。

年次	新履修科目数	再履修を含む科目数	課程・講座登録者 科目数
1年次	15	—	—
2年次	5以上12以内	17以内	17以内
3年次	5以上12以内	17以内	17以内
4年次	2以上14以内	17以内	17以内

イ. 体育実技Ⅱ・随意科目は制限科目数の枠外とする。

ロ. 外国人留学生を対象とする随意科目「日本語F」は，1年次生より履修することができ，上記表の制限外とする。

ハ. 半期科目も1科目とする。

#### II) 登録上の注意

イ. 履修届は指定された日時に必ず本人が記入捺印し，学生証提示の上提出すること。（提出しない場合は学業の意志のないものとして処理する。なお指定日時に提出できないものは事前に教務部窓口にご相談すること）

ロ. 履修届の日時，場所等についての詳細は原則として新年度成績発表前に教務部掲示板に発表する。

ハ. 所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし課程・講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが，その場合は教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講，受験しても単位は与えない。

ホ. 授業科目の追加登録は一切認めない。

ヘ. 「単位履修届」用紙の注意事項をよく読み，間違いのないように登録すること。

## 2. 履修届記入上の注意

授 業 時 間 表 (例)

月 曜 日				
	科 目 名	科 目 コ ー ド	担 任	担 任 コ ー ド
一 時 限	ド イ ツ 語 Ⅰ G	512201	百 済	879
	~~~~~			
二 時 限	保 健 体 育 理 論 (前)	514201	長 浜	993
	保 健 体 育 理 論 (後)	514201		622
	~~~~~			
三 時 限	宗 教 学 Ⅰ	510101	平 井 (俊)	735
	~~~~~			
四 時 限	論 理 学	510203	国 嶋	306
	~~~~~			
	~~~~~			
五 時 限	自 然 科 学 概 論	510401	宇 和 川	104
	~~~~~			

正 しい 記 入 例

曜 日	時 限	再 履	科 目 名	科 目 碼 数	担 任	担 任 コ ー ド
月  (1)	1		ド イ ツ 語 Ⅰ G	5 1 2 2 0 1	百 済	8 7 9
	2		保 健 体 育 理 論 (前)	5 1 4 2 0 1	長 浜	9 9 3
	3		宗 教 学 Ⅰ	5 1 0 1 0 1	平 井 (俊)	7 3 5
	4	○	論 理 学	5 1 0 2 0 3	国 嶋	3 0 6
	5		自 然 科 学 概 論	5 1 0 4 0 1	宇 和 川	1 0 4

1. 楷書体で正確に記入すること。
2. 記入の際は、必ず黒または青インクを使用し、捺印の上提出すること。
3. 授業時間表のとおり記入すること。
4. 半期終了の科目は欄の中央に点線を入れ、上に前期終了科目・下に後期終了科目を記入すること。
5. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。
6. 履修届はコンピューターで処理しているため、下記の場合、登録が無効となるので注意すること。
  - イ. 科目名・科目コード、担任名・担任コードが一致しない場合
  - ロ. 時限を誤って記入した場合
  - ハ. 間違い易い数字で記入した場合 (例, 0と6・1と7)
  - ニ. その他, 不明瞭に記入した場合
7. 体育実技の記入方法は、時間表に載っている科目コード・担任コードを正しく記入すること。
8. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。
9. 履修届の本人控を正確に記入し、紛失しないように保管すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また、一般教育科目・外国語科目・保健体育科目および基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、課程・講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次表の順序で履修する科目を決定すると容易である。

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	経済学概説，経営学概説（必修）	2
5	専門教育科目	簿記学（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から4または5科目選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	5
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

## V 試験および成績評価

### 1. 定期試験

イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月に、後期および通年の授業科目の定期試験は1月から2月にかけて実施される。

ロ. 試験を受験できる科目は、正規の手続きを経て履修登録した授業科目であること。

ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、主題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担任名・主題・学科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとじた上で提出すること。

なお、指定された日時に遅れた場合は一切受理しない。

ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の時限とし、時間および教場等については掲示で発表する。

(注) 試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験(同一科目を一括して行う試験)は平常時間割と曜日、時限とも変わるので試験時間および教場割等については掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目によって担任者が中間考査として任意に行う試験(レポート提出を含む)のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I 追試験

イ. 追試験は、やむを得ない事由があり定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその事由を記入し、自分の全ての試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示板参照)

ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II 再試験

1, 2, 3年次生については、再試験は一切実施しない。

卒業年次生に限り下記により実施する。

イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験(期間外実施・レポート提出を含む)を受験し、不合格となった科目は願出により受験することができる。

ロ. 受験料は1科目500円とする。

#### III 体育・外国語科目・その他

イ. 体育実技、演習、プロゼミは追、再試験ともこれを行わない。

ロ. 外国語科目についても追・再試験を行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後一週間以内に担任教員に申し出て指導を受ける。

#### 4. 受 験 心 得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日、時、試験場（教場）で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中、机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し、受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部、学科、学生番号、氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意をすること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し、試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては、すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり、試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意をすること。
  - (1) 代人として受験したり、又は代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート、テキスト、参考書、六法、辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机、壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり、書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作、メモその他の方法で連絡をしたり、連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート、テキスト、参考書、六法、辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり、すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優（100点～80点）、良（79点～70点）、可（69点～60点）および不可（59点～0点）とし、優、良、可を合格、不可は不合格として発表する。  
なお、素点に関する問い合わせは一切受付ない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は良（70点）以下とする。

#### 6. 試験時間

定期試験実施時間（前期・後期とも）	
1時限 9：30～10：30	4時限 14：30～15：30
2時限 11：00～12：00	5時限 15：50～16：50
3時限 13：00～14：00	6時限 17：10～18：10

追(再)試験実施時間（前期）	
1時限 16：10～17：00	
2時限 17：10～18：00	

追(再)試験実施時間（後期）	
1時限 9：30～10：20	
2時限 10：50～11：40	
3時限 13：00～13：50	
4時限 14：10～15：00	
5時限 15：20～16：10	

試験実施規程（抜萃）が掲載されている（P.25）ので参照のこと。

## Ⅵ 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得した単位数により進級及び注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

○注意進級とは、進級の基準単位数には達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。

○修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。

修得単位基準表（単位は卒業所要単位のうちとする）

	1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
進級	30単位以上	60単位以上	90単位以上修得し、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目を全て修得していること。
注意進級	29～20単位	59～50単位	90単位以上修得しているが、一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が1～16単位不足している場合。
原級留置	19単位以下	49単位以下	89単位以下。又は90単位以上修得しているが一般教育科目、保健体育科目、外国語科目が17単位以上不足している場合。

進級規程及び進級基準が（P. 27・28）掲載されているので参照のこと。

## Ⅶ クラス制およびクラス主任

- イ. 1・2年次は学科毎にクラス制をとっている。
- ロ. クラスはクラス主任（教員）が1名ずつおり、学生の学習指導、生活相談等に当たっているから、これらのことについては遠慮なく相談されたい。

## Ⅷ 教職課程・資格講座

経営学部で開講されている資格取得の課程・講座は、教職課程、学校図書館司書教諭講座、社会福祉主事講座および社会教育主事講座である。（ただし、社会福祉主事講座は59年度以降の入学生より適用。）

教職課程は、教員資格取得のためのもので、本学において教職課程の所定単位を修得したものは、中学校1級・高等学校2級の各普通免許状が取得できる。

学校図書館司書教諭、社会福祉主事および社会教育主事の各講座は、学校教育を充実することを目的とする学校図書館、社会福祉を増進させるための機関等、および青少年に対して行われる組織的な教育活動である教育施設の各専門職員となる有資格者を養成するために設けられている。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋（11月中旬）に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」および「課程・講座受講登録カード」を受け取る。（授業科目の講義内容は当該履修要項の講義内容を参照すること）

なお、ガイダンスの日時等については、実施1カ月前より掲示板で、その旨指示する。

○開講されている課程・講座

課 程 ・ 講 座 名	備 考
教 職 課 程	2年次より
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座	”
社 会 福 祉 主 事 講 座	” 59年度入学生より適用
社 会 教 育 主 事 講 座	”

## IX 事務取扱いについて

### 1. 成績発表・成績証明書について

- イ. 前期終了科目・後期および通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については成績発表後3日以内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし評価の質疑については直接担任教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績証明書は卒業年度生以外は原則として発行しない。
- ニ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を持参すること。

### 2. 授業時間について

授業時間は、次表のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00～ 10:30	10:40～ 12:10	12:50～ 14:20	14:30～ 16:00	16:10～ 17:40

### 3. 事務室の事務受付時間について

- イ. 事務室の事務受付時間は、9時より16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表・各申込等の受付は9時30分より16時までとする。

### 4. 休講について

- イ. 休講は担任教員より連絡あり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。したがって、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑦番窓口に申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、国電（山手、中央、京浜東北）もしくは東急がストを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 5. 掲示について

学生に対する公示・告示および学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示または、郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 6. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務に支障も生ずるので一切応じない。必要あるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。



## X 届書・願書について

(教務部扱いのもの)

種 類	要 領	必 要 書 類	本人印	保証人印	取扱窓口		
届	単 位 履 修 届	年度初頭の指定する期日に、各年度に修得しようとする授業科目(単位)を必ず届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	掲示	
	欠 試 届	やむを得ない事情で欠試した時は届出用紙に理由を書き、本人履修全科目の試験終了後ただちに届け出ること。(締切日は掲示参照)	所定用紙あり	不要	不要	⑨	
	改 氏 名 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤	
	本 籍 地 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり戸籍抄本1通添付	要	不要	⑤	
	保 証 人 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり在学誓書(保証書)添付	要	要	⑤	
	保 証 人 住 所 変 更 届	変更後1週間以内に届け出ること。	所定用紙あり	要	不要	⑤	
書	死 亡 届		所定用紙あり死亡診断書添付		要	⑤	
	願	休 学 願	病気その他の理由で引き続き2か月以上修学することができない場合は、保証人連署の上願い出て休学の許可を得なければならない。	所定用紙あり傷害・疾病による場合は医師の診断書添付	要	要	⑤
		復 学 願	休学した者が復学する場合は、毎学年の始め、保証人連署の上願い出て許可を得なければならない。「復学願」の提出は4月7日までとする。	所定用紙あり傷害・疾病による休学をした場合は医師の通学可能である証明書添付	要	要	⑤
	書	退 学 願	傷病その他やむを得ない理由で退学する場合はその理由を付し、保証人連署をもって願い出て許可を得なければならない。	所定用紙あり学生証添付	要	要	⑤
転 部 ・ 転 科 願		事前に教務部に相談すること。	所定用紙あり	要	要	⑦	

## XI 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教務部④番	1 通 100 円  (英文証明書) (1 通 300 円)
成 績 証 明 書		
卒 業 証 明 書		
学 士 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
単 位 修 得 証 明 書 (教職, 司書教諭, 学芸員, 社会教育, 社会福祉)		
一 般 教 養 科 目 修 了 ( 見 込 ) 証 明 書		
在 籍 証 明 書 (中途退学者に限る)	教務部⑤番	
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	学 生 部 ③ 番	
在 学 証 明 書	学 生 部 ② 番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口に申し込むこと。発行は原則として3日後。

教務部取扱い証明書は、6月下旬から10月中旬までと3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。

## 試験実施規程(抜萃)

(昭和59年7月13日制定)

### (目的)

第1条 この規程は、駒沢大学(以下「学部」という。),駒沢短期大学(以下「短大」という。),駒沢大学大学院(以下「大学院」という。)の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### (試験の実施)

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### (試験の種類及び実施の時期)

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
  - (2) 追加試験(以下「追試験」という。)病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
  - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
  - (4) 中間試験 第1号,第2号,第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときはこれを実施しない。
- (1) 学部1,2,3年次生の再試験
  - (2) 学部外国語科目,体育実技,演習,その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
  - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### (試験の方法)

第4条 試験は、筆記,口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### (試験時間)

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分,第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### (受験資格)

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。

- (2) 授業料その他の学費を納入していること。
2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試届及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)、不可(59点～0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

1. この規程は、昭和59年7月13日から施行する。

# 進 級 規 程

(昭和51年4月1日制定)

昭和59年12月18日改正

## (目的)

第1条 この規程は、駒沢大学学則第14条に基づき、学生が上級学年に進級するために必要な修得単位数の基準を定めることを目的とする。

## (進級基準単位数)

第2条 学生が上級学年に進級するときは、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得していなければならない。

- (1) 1年から2年に進級するときは、30単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年に進級するときは、60単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年に進級するときは、仏教学部、文学部、経済学部、経営学部、経済学部第2部、法学部第2部、経営学部第2部においては90単位以上、法学部においては99単位以上を修得していること。  
ただし、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の所要単位をすべて修得していなければならない。

## (注意進級基準単位数)

第3条 前条の規定にかかわらず、卒業所要単位数のうち、次の各号の一に該当する単位数を修得しているときは、本人に注意を喚起し、上級学年への進級を認めることができる。

- (1) 1年から2年への進級を認めるときは、20単位以上修得していること。
- (2) 2年から3年への進級を認めるときは、50単位以上修得していること。
- (3) 3年から4年への進級を認めるときは、次に掲げる条件の一に該当していること。
  - ア. 仏教学部、文学部、法学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。
  - イ. 経済学部、経営学部、経済学部第2部、経営学部第2部においては、90単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が16単位以下であること。
  - ウ. 法学部においては、99単位以上を修得し、かつ、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目の未修得単位の合計が12単位以下であること。

## (原級)

第4条 修得単位数の合計が、注意進級基準単位数に達しない者は、原級に留め置くものとする。

## 附 則

この規程は、昭和60年4月1日から施行し、昭和60年度入学生から適用する。ただし、昭和59年度以前の入学生については、昭和62年3月31日までは、なお、従前の進級基準によるものとする。

## 進 級 基 準

この基準は、駒沢大学学則第14条に基づき、上級学年に進級する場合の基準を次のように定める。

### (正規進級)

第1条 上級学年に正規進級する場合は、下記の単位数の取得を要する。

1. 1年から2年に進級する場合、卒業所要単位のうち、30単位以上。
2. 2年から3年に進級する場合、卒業所要単位のうち、60単位以上。
3. 3年から4年に進級する場合、卒業所要単位のうち、90単位以上。

ただし、90単位以上の者でも、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の必要単位数を全て取得していること。

### (注意進級)

第2条 正規の進級基準には、達しないが教育的配慮から進級を認める。ただし注意進級が、再度つづく場合には、取得単位の不足から、4年間で卒業することが困難となるので、今後十分に自戒して所定の単位数を取得するよう努めることが必要である。

1. 1年から2年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち29～20単位までとする。
2. 2年から3年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち59～50単位までとする。
3. 3年から4年に注意進級する場合、卒業所要単位のうち90単位以上を取得するも、その内一般教育科目・保健体育科目・外国語科目の不合格単位数の合計が1～16単位までとする。

### 付 則

この基準は、昭和51年4月1日より施行する。

## 講 義 内 容 目 次

一 般 教 育 科 目	(33)
随 意 科 目	(37)
基 礎 教 育 科 目	(40)
専 門 教 育 科 目	(41)
教職および資格講座	(51)





## 一般教育科目

### 人文分野

宗教学Ⅰ(佐藤 達玄) ……………	33
宗教学Ⅰ(石川 力山) ……………	33
宗教学Ⅰ(松本 史朗) ……………	33
宗教学Ⅰ(山内 舜雄) ……………	33
宗教学Ⅰ(再クラス)(岡部 和雄) ……………	33
宗教学Ⅰ(再クラス)(奈良 康明) ……………	33
宗教学Ⅱ(皆川 広義) ……………	33
宗教学Ⅱ(椎名 宏雄) ……………	34
宗教学Ⅱ(石井 修道) ……………	34
哲学(高橋 久一郎) ……………	34
論理学(小宮山 隆) ……………	34
倫理学(国嶋 一則) ……………	34
文学(野中 雅行) ……………	34
歴史学(茂澤 方尚) ……………	34

### 社会分野

法学憲法(西 修) ……………	35
法学憲法(茂野 隆晴) ……………	35
社会学(岩上 真珠) ……………	35
地理学(前期)(渡辺 盾夫) (後期)(中島 義一) ……………	35
統計学(原田 桂一郎) ……………	35
文化人類学(小島 清志) ……………	35
文化人類学(村武 慶) ……………	36

### 自然分野

自然科学概論(斉藤 浩三) ……………	36
自然科学概論(篠原 正雄) ……………	36
自然科学概論(清水 善和) ……………	36
数学(福田 賢一) ……………	36
心理学(大塚 秀治) ……………	36
心理学(鈴木 順一) ……………	36

## 随意科目

比較思想特講(窪 徳忠) ……………	37
英会話Ⅱ(J. ウェルズ・J. G. ギャリソン T. J. コーガン・P. A. ベンディネリィ) ……	37
英語LLⅡ(T. J. コーガン・見上 晃) ……	37
ドイツ語F(栗原 万修) ……………	37
ドイツ語FLL(初級)(松岡 晋) ……………	37
ドイツ語FLL(中級)(松本 洋子) ……………	37
フランス語F(加藤 節子) ……………	37
フランス語FLL(初級)(松岡 宏一) ……………	37
フランス語FLL(初級) (マドレーヌ・マルタン) ……	38

### フランス語FLL(中級)

(マドレーヌ・マルタン) ……	38
中国語F(刈間 文俊) ……………	38
中国語FLL(初級)(果 荃英) ……………	38
中国語FLL(中級)(羅 濛明) ……………	38
スペイン語F(佐藤 玖美子) ……………	38
スペイン語FLL(初級)(ホワン・ナバロ) ……	38
スペイン語FLL(中級)(ホワン・ナバロ) ……	38
ロシア語F(杉山 秀子) ……………	38
ロシア語FLL(初級) (タチャーナ・バリソヴナ・野村) ……	39
ロシア語FLL(中級) (タチャーナ・バリソヴナ・野村) ……	39
日本語F(初級)(留学生対象) (大塚 純子) ……	39
日本語F(中級)(留学生対象) (杉山 秀子) ……	39

## 基礎教育科目

経済学概説(羽鳥 茂) ……………	40
経営学概説(宮城 徹) ……………	40

## 専門教育科目

簿記学(近藤 禎夫) ……………	41
簿記学(中平 榮一) ……………	41
簿記学(久松 治夫) ……………	41
簿記学(渡辺 恵一郎) ……………	41
簿記学(木下 照嶽) ……………	41
簿記学(高木 克己) ……………	41
簿記学(東海 幹夫) ……………	41
プロゼミⅠ(経営コース)(前田 和利) ……	42
プロゼミⅠ(会計コース)(渡辺 恵一郎) ……	42
プロゼミⅠ(経済コース)(永田 智則) ……	42
経営学(鈴木 幸毅) ……………	42
会计学(片桐 伸夫) ……………	42
経営史(前田 和利) ……………	42
経営管理論(鈴木 幸毅) ……………	42
企業形態論(渡辺 行男) ……………	42
プログラミング論(清水 忠良) ……………	43
プログラミング論(山崎 和海) ……………	43
原価計算論(近藤 禎夫) ……………	43
経済原論(中村 雄次郎) ……………	43
近代経済学(前期)(谷口 洋志) (後期)(滝田 公一) ……	43
日本経済史(北島 万次) ……………	43
統計原論(後藤 儀一郎) ……………	43

民法 I (山崎 敏彦) .....	44
プロゼミ II (経営コース) (小野寺 孝一) .....	44
プロゼミ II (経営コース) (北村 健之助) .....	44
プロゼミ II (経営コース) (山田 勝) .....	44
プロゼミ II (経営コース) (高田 光明) .....	44
プロゼミ II (会計コース) (長松 秀志) .....	44
プロゼミ II (会計コース) (久松 治夫) .....	44
プロゼミ II (経済コース) (池田 健) .....	44
商法 I (荒木 正孝) .....	44
経営学史 (北村 健之助) .....	45
アメリカ経営学 (宮城 徹) .....	45
経営財務論 (高田 光明) .....	45
経営労務論 (安藤 喜久雄) .....	45
経営組織論 (平山 健二) .....	45
経営技術論 (小野寺 孝一) .....	45
経営情報論 (加藤 武信) .....	45
経営科学 (日下 泰夫) .....	46
公益企業論 (石井 彰次郎) .....	46
マーケティング論 (武田 康) .....	46
商業経営論 (森宮 勝子) .....	46
保険経営論 (石名坂 邦昭) .....	46
銀行経営論 (近沢 敏里) .....	46
貿易経営論 (武田 康) .....	47
日本経営史 (斎藤 憲) .....	47
経営統計 (後藤 儀一郎) .....	47
上級簿記 (渡辺 恵一郎) .....	47
財務会計論 (久松 治夫) .....	47
管理会計論 (長松 秀志) .....	47
経営分析論 (片桐 伸夫) .....	47
税務会計論 (鈴木 明男) .....	48
会計監査論 (中平 榮一) .....	48
証券市場論 (柿崎 暎次) .....	48
商業史 (山田 勝) .....	48
経済政策 (西山 司) .....	48
財政学 (西村 紀三郎) .....	48
金融論 (石野 典) .....	49
国際経済論 (永田 智則) .....	49
国際金融論 (池田 健) .....	49
民法 II (河野 弘矩) .....	49
外書講読 (英) (渡辺 行男) .....	49
外書講読 (英) (羽鳥 茂) .....	49
外書講読 (英) (平山 健二) .....	49
外書講読 (英) (木下 照嶽) .....	49
外書講読 (独) (百済 勇) .....	50
外書講読 (仏) (中村 雄次郎) .....	50
外書講読 (中) (松本 丁俊) .....	50
外書講読 (ス) (佐藤 玖美子) .....	50
商法 II (島原 宏明) .....	50
労働法 (竹下 英男) .....	50

# 一 般 教 育 科 目

## 人 文 分 野

### 宗 教 学 I

佐 藤 達 玄

宗教とは何かという問いから出発し、人間生活と宗教の役割や、社会・国家との関連の下に、世界宗教であるキリスト教・イスラム教・仏教について概観する。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗 教 学 I

石 川 力 山

前期は、宗教とは何かという問題を、その社会的機能を主として考え、個人と宗教、社会と宗教、国家と宗教の問題等についても論及したい。

後期は、世界宗教・普遍的宗教といわれるイスラム教・キリスト教・仏教を中心として、まず歴史的にその展開と教義内容を概観し、世界各国における現状と問題点を指摘して、人間と宗教という文化的営みの根本的な関係について考えてみたい。

〔教科書〕 駒沢大学仏教学研究室編『宗教学Ⅰ』（更生社） ¥1,950

〔参考書〕 水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗 教 学 I

松 本 史 朗

宗教学に関する基礎知識を解説した上で、仏教について、その歴史的展開を踏まえて講義する。

〔教科書〕 『宗教学Ⅰ』（更生社）

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗 教 学 I

山 内 舜 雄

教科書を使用する。下記宗教学Ⅰ。

一般宗教学の入門から、世界の諸宗教を概説して仏教に至り、特に大乘仏教について詳説する。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学Ⅰ』（駒沢書房）

### 宗 教 学 I (再クラス)

岡 部 和 雄

前半では宗教とは何かという問題を現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教に的をしぼり、その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔参考書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

『仏教の歩んだ道Ⅰ』（東京書籍）

### 宗 教 学 I (再クラス)

奈 良 康 明

人間生活における宗教、仏教の意味、機能および構造を「宗教文化史」研究の枠組の中であきらかにしてゆきたい。出来るかぎり、現代の私たちの生活とのかかわりの中で諸テーマを考える。

〔教科書〕 『宗教学ハンドブック』（世界書院）

『仏教のおしえ』（東京書籍）

### 宗 教 学 II

皆 川 広 義

はじめに、日本人の心に大きな影響をあたえてきた仏教について、教主釈尊の教えを中心に概説する。

次に、仏教のなかで、生活化された仏教といわれる禅について、その歴史を中国・日本へとたどりながら、思想や創造した禅文化について考究したい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学Ⅱ』（更生社）

## 宗 教 学 II

椎 名 宏 雄

宗教学Ⅰで学習した基礎の上に立ち、仏教思想の中でも特に東洋的な多くの特長をもつ禅について、広い視野からの総合的な理解を旨とする。

講義はノート筆記を主とし、(1)仏教と禅、(2)禅の歴史(3)禅の実践、(4)禅の思想、(5)禅と文化、(6)禅と経営、の順に進める。のみならず、随時に関連したテーマをとりあげ、現実の問題として学生諸君とともに考えてゆきたい。坐禅の実習も行う。

〔参考書〕 鎌田茂雄『現代人の仏教』(月刊ペン社)

## 宗 教 学 II

石 井 修 道

駒沢大学で行われている宗教学Ⅱとは、宗教学とは何か、仏教とは何かを学んだ宗教学Ⅰの後を承けて、禅とは何かについて具体的に学ぶ科目である。インドからやって来たダルマを開祖とする禅は、何よりも実践を重んじているので、第一はその思想が生まれてくる背景は何かをまず学びたい。次にダルマ以降に発展する禅では、自己への問いかけを重要課題とするので、第二は禅という自己とは何かを問題にして行きたい。第三は禅の歴史の上にあらわれる個性的な禅者を通して、禅が何をめざしているかを考えたい。

〔教科書〕 山内舜雄編『宗教学Ⅱ』(更生社)

¥ 1,950

## 哲 学

高 橋 久 一 郎

人間は生れつき、知識の営みをするように定められている。人間のもつどんな知識でも思想を表わし、人間はその思想によって生きている。しかしわれわれの日常生活では、自分がどのような思想によって生きているのか自覚がない。それは、伝統的思想に支配されているからである。われわれが「よりよく生きる」ことを願うならば、一定の目標を定めなければならない。そのためには自覚した思想をもたなければならない。哲学は、古代から現代に至るまでの自覚された思想を研究し、さらにそれを自らの生きるための思想とするものである。また大学における学問研究の基礎知識にも努める。

〔教科書〕 その都度指示する。

## 論 理 学

小 宮 山 隆

論理学は、正しく思考するためには「いかに思考すべきか」を教える科学である。ここでいう思考は、推理という型の思考である。われわれは、学問する場合はむろんのこと日常生活においても、たえず思考しているが、必ずしも正しく思考しているとはかぎらない。したがって、論理学によって正しく思考するための法則を学ばなければならない。さらに、現代の科学技術や電算機の基礎になっている論理法則の理解や習得をする。

〔教科書〕 『新しい認識への論理』(公論社)

## 倫 理 学

国 嶋 一 則

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探究する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理(人生観)や世界の原理(世界観)に従った行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の獲得に努める。

〔教科書・参考書〕 その都度指示する。

## 文 学

野 中 雅 行

川端康成の主要な作品を紹介し、皆さんと作品抜粋を読みすすめる中で、作品内をつらぬく内的世界性を追究する。また、川端康成の伝記事蹟をたどりながら、作家の文学的精神のありかたを、主として心理学的な側面から探究・考察してみる。

〔教科書・参考書〕 講義時の都度、印刷物にして配布する。

## 歴 史 学

茂 澤 方 尚

中国古代(先秦時代)に於ける西北方の少数民族の動向を中心に、その歴史を概観する。王国維の所説をかえりみながら、最近の欧米の、特にJ.プルセックの所説などを紹介してゆきたい。

〔教科書〕 随時紹介する。

## 社会分野

### 法学憲法

西 修

法学においては、法の概念、法の目的、法の種類、法の解釈など、法を知る上において必要な知識を取得できるようにする。

憲法においては、日本国憲法の各章につき、学説、判例などをとり入れ、その全体像を理解できるようにする。本年は日本国憲法公布40年の節目になるので、その制定過程についても言及していきたい。

〔教科書〕 関口雅夫・西 修編「法学憲法」(方円書林) ¥2,500

〔参考書〕 その都度指定。

### 法学憲法

茂野 隆 晴

平素の日常生活のなかでは余り意識されることがないかもしれないが、われわれは多種多様な法制に圍繞されており、ときにそれによって重大な影響を被ることも少なくない。こうした状況のもとで、正しい法知識、法的素養を身につけることは必須の要件といってよい。

法律は、ともすれば無味乾燥なものと理解されている向きがある。そこで、成るべく身近な問題に照して平易に講述していく。

講義は、前半で、わが国の法制の歴史の変遷、現代国家の仕組みなどを概観したうえで、現代法の特性に及ぶ。後半では、教養としての憲法を念頭におき、現行憲法全般にわたる解釈をおこなう。

〔教科書〕 最初の授業で指示します。

〔参考書〕 適宜指示します。

### 社会学

岩 上 真 珠

社会学の基本的な概念である集団、組織、制度を中心に、個人と社会の関係について論ずる。講義では、できるだけ身近なテーマを取り上げながら、社会的なものを見方を身につけてもらうことを目指す。

〔教科書〕 『テキストブック社会学(1)入門社会学』(有斐閣ブックス) ¥1,200

〔参考書〕 『バーガー社会学』(学研) ¥2,600

### 地 理 学

(前期) 渡 辺 盾 夫  
(後期) 中 島 義 一

〔前期〕経済地理の分野である物的流通の実態と流通機関、および物流をなう輸送機関、さらに広義の流通の中に含まれる情報などについて講義する。

教科書は使用しないが、必要ときにはプリントを配布する。

〔後期〕歴史地理学の立場から日本の都市、村落、交通等につき講義する。下記教科書のほか地図帳(高校生の時使ったものでよい)を忘れずに持参すること。

〔教科書〕 (前期) 使用しない。

(後期) 矢守一彦『空からみた歴史景観』(大明堂)

### 統 計 学

原 田 桂 一 郎

統計学を学ぶことは、それぞれが専攻する領域において、統計的方法を利用できるようになるための準備である。本講義では、人文・社会科学の領域で統計学を役立てようとする者にとって必須の基礎知識を解説する。

講義の順序は、(1)統計学全体の展望、(2)データの整理と記述、(3)確率論の基礎、(4)統計的推測の基礎、(5)帰帰分析の理論、である。

とかく、統計学を数学だらけの厄介なものとして敬遠しがちであるが、本講義は四則演算がわかっている程度、理解できる程度のものとした。

〔教科書〕 中村隆英、新家健精、美添泰人、豊田敬、著『統計入門』(東京大学出版会) ¥2,200

### 文化人類学

小 島 清 志

現代のごとく情報が広範に錯綜する社会において、自分と他者がより良く共存するために、その根底とすべき柔軟な視座はどこに求められるのか。またこの社会と文化をいかにとらえることが可能なのか。それは我々の生き方と直接結びついてくる問題であろう。文化人類学は解決への一つの入口を与えてくれる方法となりうるであろう。身近な経験や見聞なども手がかりにしながら、一緒に模索していきたい。

〔教科書〕 教科書は特に指定せず、講義中に参考書を適宜紹介する。

## 文化人類学

村 武 慶

私達は、ややもすると、自分達の生活様式、家族・親族の形態、自分達の宗教を最高のものと思いがちであるが、必ずしもそうではないことを、いろいろな民族、社会を比較して学んでいきたい。

〔教科書〕『文化人類学を学ぶ』（有斐閣選書）

¥1,100

〔参考書〕『文化人類学』（有斐閣双書）

## 自然分野

### 自然科学概論

斉 藤 浩 三

20世紀後半における大規模な工業生産と高度の経済成長を支えてきたものはエネルギー資源であるが、そのエネルギーの形態や内容は、時代によって大きく変化する。現代は、化石燃料から新エネルギーへの転換の時期にさしかかっている。新エネルギーのうちで原子力は最も主要なものであり、将来は一層その重要性が増大するので、原子力事情を展望し、また問題点と対応策について考察する。また、新エネルギーその他の新しい分野の開発では、きわめて高度な技術が要求されるが、これらの先端技術の現状や新素材の役割などについても平易に解説する。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

### 自然科学概論

篠 原 正 雄

古代から近代を経て現代に至る科学の歴史をたどり、自然科学の方法について学ぶ。また、今日の自然科学をめぐるさまざまな問題を考察する。

〔教科書〕『科学史』（有信堂） ¥1,800

### 自然科学概論

清 水 善 和

異常気象、人口増加、食糧不足、原子力利用、バイオテクノロジー、環境汚染など、現在地球の規模で話題となっている諸問題を取りあげ、自然と人間とのかかわり

あいについて考える。

## 数 学

福 田 賢 一

現代数学の概念、方法を社会科学との関連、応用に力点をおき解説する。内容は次のとおりである。

(1)論理 (2)線形代数 (3)解析 (4)確率・統計予備知識は特に必要としない。

〔教科書〕『新しい数学』（東京教学社） ¥1,400

## 心 理 学

大 塚 秀 治

心理学は人間の“こころ”と“行動”をその研究対象とした科学である。ここでは心理学の基礎的な問題を学び、心理的な研究方法、考え方を身につける。また、時間が許せば簡単な実験を行い、実際の場面で理解を深める。なおこの講義は基礎心理学を中心に行うので、精神分析、カウンセリング等に関心のある諸君は選択すべきではない。

〔教科書〕『心理学概説』（八千代出版）

〔参考書〕『新心理学』（八千代出版）

## 心 理 学

鈴 木 順 一

自己理解のために、自分自身の心や性格をみつめてみる。最低5冊以上の参考文献を読み、自己分析・自己成長記録を提出し発表しなければならない。この授業の単位を取ることは極めて難しく主体的学習意欲が望まれる。

〔教科書〕『心理学概説』（八千代出版）

〔参考書〕 授業内で指示します。

# 随 意 科 目

## 比較思想特講

窪 徳 忠

中国の文化、とくにその信仰・習俗のうちから道教に関連の深いと思われるものを選んで、日本で現行されている信仰・習俗との比較を扱ってみたい。地域的には沖縄や奄美地方が中心となるが、その他の地方にも言及する。なお、必要に応じてスライドを使用して、一層の理解を深める予定である。

〔参考書〕 窪『中国文化と南島』（第一書房）  
¥2,500

## 英 会 話 Ⅱ

J. ウェルズ・J. G. ギャリソン  
T. J. コーガン・P. A. ベンディネリイ

全学で4クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。

担任名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認し、詳しくは教場で教師の説明に従って下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

## 英 語 LL Ⅱ

T. J. コーガン・見 上 晃

英語LLⅠのアドバンスト・コースとして全学で2クラスを設け、学部及び短大の2年次生以上を対象とします。1年次に英語LLⅠを履修しなかった学生も参加し履修できるようにしてあります。

担任名及び曜日、時限、クラスは時間割表で確認して下さい。

〔教科書〕 テキストは担当教師が教場にて指示。

## ド イ ツ 語 F

栗 原 万 修

ドイツと日本に古くから伝えられてきた民話を、ドイツ語で読んでいく。ドイツの民話はグリム兄弟のものを主とする。そして民話を通し両国間の国民性のちがい等についても考察していきたい。テキストはその都度、教場にて配布する。(無料)。

## ドイツ語FLL(初級)

松 岡 晋

一年次のドイツ語(1G, 1R)を修得した者を対象に、ビデオテープ等の教材を用いて、基本文型を用いた日常会話の練習をおこないます。参加者について特に条件はありませんが、毎回かならず出席し、一年間で何かを自分のものにしようという最低限度の意欲のある者の受講を希望します。

〔教科書〕 テキストはその都度プリントで配布。

## ドイツ語FLL(中級)

松 本 洋 子

一年次のドイツ語を終えた者を対象と、ビデオやテープを用いて、基本的な文型や語彙を身につけ、日常的な会話の表現力をつけていきたいと思う。

〔教科書〕 テキストはその都度配布する。

## フ ラ ンス 語 F

加 藤 節 子

やさしいテキストを使ってフランス文学史を読む。17世紀から始めて19世紀頃までの文学とその社会背景を概観していく予定である。時間があれば19世紀の作家、ラマルチヌ、シャトーブリアン、スタンダール、ミュッセ、ジョルジュ・サンド、バルザック、フロベール、ボードレール、ヴェルレーヌなどの作品の一部を抜粋して読めればと考えている。

〔教科書〕 プリント

## フランス語FLL(初級)

松 岡 宏 一

“Entrée Libre”を教材として用いる予定です。スライド画面とテープの音とを併用して、基礎的な表現力を養成したいと思います。会話は、音を真似ることから始められなければならないので、積極的に授業に参加し、フランス語を聞いたり話すことに慣れるようにして下さい。また、途中であきらめることなく、一年をとお

して出席し、少しでも「フランス語」の中に入りこむことができるように、希望したいと思います。テキストは教場で配布します。

〔教科書〕 『Entrée Libre1』

### フランス語FLL（初級）

マドレーヌ・マルタン

初心者のための実用的なフランス語会話です。やさしい聞きとり練習や文章パターンの習得を通じて、基礎的会話に必要な表現能力を養成することを目的とします。

テキストは教室で配布します。

〔教科書〕 『Sans frontière』 leçon 1より。

### フランス語FLL（中級）

マドレーヌ・マルタン

初級会話にやや慣れた学生のための実用会話。初級会話を簡単に復習したあと、下記の教科書を使って、少し高度な聞きとり、及び表現の練習をします。

〔教科書〕 『Entrée Libre1』

### 中国語 F

刈 間 文 俊

中国語を二次まで学んだものを主たる対象とし、文学作品の講読を中心としつつ、より上へのレベル向上を目的として、耳の訓練も随次取り入れていく。辞書を必ず持参すること。ここ数年來の新しい作品を選び、中国語の学習を通して、中国を研究する意味などを語りあいたい。

〔教科書〕 プリントを教場で配布。

### 中国語 FLL（初級）

果 荃 英

中国語初級を終えた者を主たる対象とし、正確な発音をマスターし、やさしい中国語の会話を習得することを目的とする。視聴覚教材を使用して楽しく授業を進めたいと思う。

〔教科書〕 教場にてプリントを配布する。

### 中国語 FLL（中級）

羅 濛 明

中国語FLL初級を終えた者又は中国語を一年以上

履修した者を対象とする。会話を中心として授業を進めます。

〔教科書〕 必要に応じて教場でプリントを配ります。

### スペイン語 F

佐 藤 玖 美 子

本講座は、1・2年で習得した知識をもとに、特に読解力の養成を目的とします。今年度はテキストとして、スペイン独特の諺に富んだ頓知話や奇想天外のおどけ話を集めた民話集を選びました。これらの民話を読みながら、笑いの中に含まれる教訓、そしてスペイン民衆の生活雰囲気やその感情、心意気などを味わってみたいと思います。

〔教科書〕 プリント

### スペイン語FLL（初級）

ホワン・ナバロ

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。

### スペイン語FLL（中級）

ホワン・ナバロ

前年度LL初級を終えた者、またはそれと同等の学力を身につけている者を対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

### ロシア語 F

杉 山 秀 子

本講座はロシア語初級課程を終えた者を主たる対象とする。ロシア語の読解力と表現力の養成を目標とする。名文といわれる様々なスタイルのロシア語の文章に接することにより、ロシア語のもつメリハリのある美しさや力強さを味わっていただきたいと思う。

〔教科書〕 教場にて指示します。



### ロシア語FLL（初級）

タチヤーナ・バリーソヴナ・野村

テキストに従いやさしいロシア語の日常会話を学習する。正しいロシア語の発音やイントネーションを練習し簡単なロシア語の表現力を身につけることを目的とする。

〔教科書〕 教場にて指示。

### ロシア語FLL（中級）

タチヤーナ・バリーソヴナ・野村

初級課程で得た知識を土台に更にロシア語独特な生の言いまわしや、日常会話の平均的速度になれてもらい、自由な発話への第一歩となる様に心がけていきたい。

〔教科書〕 教場にて指示。

### 日本語 F（初級）（留学生対象）

大塚 純子

本講座は昭和57年度に初めて設置された留学生のための日本語の随意科目である。日常生活における意志伝達にはさほど苦労しないが、若干こみいった内容の聴きとりや説明、正しい表記・用語法などに困難を感じている留学生諸君は是非受講されることが望ましい。なお、受講者の日本語のレベルもバラバラであると予想されるので、授業の最初に簡単なアンケートとテストに答えてもらい、その後に細目について詳しく説明する。授業では最新の日本語教育用のビデオやスライド等を駆使しつつ、現代生活に密着した正しい日本語を修得することを旨としていきたい。

〔教科書〕 面談の上決定します。

### 日本語 F（中級）（留学生対象）

杉山 秀子

日本語Fの初級課程を終えた者、あるいはそれと同等の学力を有する留学生を対象とし、日本語での発表能力や、表記・表現法をさらに高め、深化させていく。授業では適時、新聞・雑誌の読みあわせや、NHKの教養番組の聴きとり、ニュース解説、日本映画等のビデオ録画をとりあげて、偏りのない日本語の総合力を身につけることをめざしたい。

— 一週間に一度は必ず小テストをし、レポートの提出を義務づけるので授業はなるべく休まないこと。

〔教科書〕 教場にて指示します。

# 基礎教育科目

## 経済学概説

羽 鳥 茂

経済学の基礎理論を講義する。主な内容はマイクロ経済学とマクロ経済学の解説であるが、経済政策や実証分析への応用を意図しながら話を進めたい。

講義の前半では、需要・供給の法則を理解するために消費者行動・企業行動についてのマイクロ経済学と、国民所得決定およびその変動についてのマクロ経済学を解説する。後半においては、財政政策、金融政策、国際貿易や為替レート決定等の応用問題について初等的な解説をする予定である。

〔教科書〕 幸村千佳良『経済学事始』（多賀出版）  
¥ 2,300

## 経営学概説

宮 城 徹

世界の経営学をリードしているのは、いうまでもなく、アメリカ経営学とドイツ経営学である。そして、わが国の経営学はその誕生から、上記の双方の経営学の圧倒的な支配的影響を受けて、研究・教育普及の一翼をになって発展し、今日にいたっている。

ありていにいえば、わが国の経営学は、アメリカとドイツにおける経営学の諸潮流を見定めつつ、そのなかで自らを形成し、今日の大をなしたのである。

よって、この講座では、(1)経営経済学の系譜、(2)経営管理論の系譜、(3)日本経営学の系譜、を中心に講義を進めるつもりである。

〔教科書〕 鈴木英寿編『経営学の国際的系譜』（成文堂）昭和59年 ¥ 2,900

# 専 門 教 育 科 目

## 簿 記 学

近 藤 慎 夫

社会科学としての簿記・会計学は、たんなる計算技術ないし記帳技術的側面の理解のみにおわってはならない。

それが現実の社会・経済においてどのような役割をにない、機能しているのかという点もあわせて解明する必要がある。本講義では、簿記論に関連するかぎりにおいて、周辺科学（とくに会計に関する諸科目や、商法、税法等）も必要に応じて展開する。

〔教科書〕 敷田礼二編『資本主義と簿記』（全訂版）  
（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕 野村秀和著『会計の基礎知識—決算数値の分析入門—』（青木書店）

## 簿 記 学

中 平 榮 一

商企業を中心とする複式簿記の原理について詳細に講述する。なお、出来るだけ多くの記帳練習問題をとりあげることにしている。

## 簿 記 学

久 松 治 夫

本年度は下記の教科書を使用し、現在の企業会計上行われている複式簿記を中心として、その基本理論と構造について講述する。主な内容は次のとおり。

I 簿記原理 II 勘定科目論 III 帳簿組織  
IV 財務諸表の作成

〔教科書〕 久松治夫『現代簿記論』（創成社）  
¥ 2,400

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 簿 記 学

渡 辺 恵 一 郎

簿記の基礎知識をしっかり理解してもらいます。「数

学嫌い」の人でも数字に強くなるよう、一步一步踏まえていくことが大切です。簿記の対象は、日常の経済的活動であり、具体的内容です。また簿記はとくに企業の姿を計数的に表現しますから、他の専門教育科目とも密接な関連があり、その基礎的素養が充実してくれば、次第に「経営を見る」心が得られるでしょう。

毎時間の出席率と宿題提出とを重視します。

〔教科書〕 太田哲三・新井益太郎共著『新簿記原理』（中央経済社）

## 簿 記 学

木 下 照 嶽

この講義では、会計学および経営学系統の学習にとって欠くことのできない、簿記の基本的な原理を理解することに重点をおく。記帳練習、小テストおよび数的処理（計算力）が要求される。分かり易く講義することを第1の目的としているが、学生諸君が全出席を念頭に真面目に勉学してほしい。計算機を毎時間持参すること。

〔教科書〕 東京簿記教育協会編『簿記テキスト』

” 『簿記問題集』

## 簿 記 学

高 木 克 己

開講時に指示する。

## 簿 記 学

東 海 幹 夫

企業会計システムからアウトプットされるデータの理解を適切な運用なくして、企業を合理的に経営していくことは不可能である。複式簿記のシステムは、企業の外部および内部からの要請に基づいて考案された社会的制度的な計算技術である。

本講座は、この複式簿記の基本原理を習得してもらうためにある。講義は、一回一回の積み重ねによって総合的な理解を得てもらうように進められるから、学年末にまとめて勉強することは出来ない。必ず出席してその場

でマスターして行ってほしい。

〔教科書〕 青山学院大会計学研究室編『簿記練習帳』

プロゼミ I (経営コース)

前田 和 利

テキスト(未定)を読みながら討論し、広い視野から企業経営を史的に学ぶ眼を養っていききたい。

プロゼミ I (会計コース)

渡 辺 恵一郎

企業経営を計数的に表現するには、簿記会計の知識が必要不可欠である。簿記は、元来、帳簿記入の略とされ、その内容は会計から指示され、一定の原理にしたがって秩序正しく記録する技法である。簿記記録の結果、企業の経営成績や財政状態が財務諸表などをもって企業の利害関係者たちに利用される。

授業では、毎年6月及び11月に行われる日本商工会議所の簿記検定試験(とくに3級)に合格するように、問題集を中心に解答、解説を行う。

毎時間の出席を重視する。

〔教科書〕 『日商簿記検定 段階式ワーク・ブック・3級商業簿記』(税務経理協会)

〔参考書〕 『体系会計諸則集』(白桃書房)

プロゼミ I (経済コース)

永 田 智 則

このプロゼミでは、日本経済が現在直面している諸問題に焦点を絞って授業をすすめます。その過程で経済問題を考究するときに必要となる基礎的な分析道具の習得に努め、将来の専門的研究の足掛りとなるよう心掛けます。

〔教科書〕 開講当初に指示します。

経 営 学

鈴 木 幸 毅

1. 資本主義企業の発展
2. 経営学の対象
3. 現代経営学の諸問題

〔教科書〕 鈴木幸毅著『企業と管理の理論』(税務

経理協会)

会 計 学

片 桐 伸 夫

「会計は企業の経済活動を貨幣金額によって正確に表現することが任務である。」(テキスト序より)が、とはいえ、正確な貨幣金額への換算(すなわち評価)は容易なことではない。ここに、会計が学問として成立する理由があるように思われる。本講では1年次に学習した簿記の知識をもとに、最終的に財務諸表が調整されるまでの各種の会計評価手続をできるだけ平易に概説する予定である。

〔教科書〕 沼田嘉穂『会計教科書』(同文館)

経 営 史

前 田 和 利

経営史は「企業経営とは何か」について史的に答えていくことに研究の意義がある。講義では、経営史学の課題と方法を検討し、そのうえにたつて事例研究をふまえて、企業経営の一般の発達史を論ずる。その際、経済過程や文化構造と関連させながら、企業経営者のタイプ、経営形態、企業形態、組織と管理などの問題に焦点をあてる。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示します。

経 営 管 理 論

鈴 木 幸 毅

テイラーの「科学的管理」とその現代的展開を説明して伝統的管理論の構造と特質を明らかにし、「人間関係論」から「行動科学的管理論」への発展を跡づけることによって現代の管理問題を解明する。さらに「近代管理論」をとりあげてその機能と本質を追求する。

〔教科書〕 鈴木幸毅著『バーナード理論批判』(中央経済社) ¥2,000

企 業 形 態 論

渡 辺 行 男

講義すべき主要な問題は以下のとおり。

- ① 企業形態の史的分析(とくに、2と3)
  1. 重商主義段階
  2. 自由主義段階
  3. 帝国主義段階
- ② 現代資本主義における企業形態

1. 現代株式会社（持株会社・コンツェルンなど）
  2. 現代公企業（公社・国家持株会社・国家コンツェルン）
  3. 現代協同組合（生協・中小企業協同組合）
- 〔参考書〕 開講時に指示する。

10. 原価計算の歴史
- 〔教科書〕 沼田嘉穂著『原価計算・工業簿記教科書』（同文館）
- 〔参考書〕 敷田礼二・近藤禎夫著『原価公開』（新日本出版社）

## プログラミング論

清水 忠良

- 1) BASICプログラミング
  - 2) 実習（重視いたします。）
  - 3) 情報処理システム
- 〔教科書〕 戸川準人『PC-9801・BASIC』（サイエンス社）

## プログラミング論

山崎 和 海

情報処理並びにコンピュータ・システムというものを、経営学の立場から、広い視野をもって把握していくことに注力しながら

1. BASICプログラミングを通しての論理的思考の修得
  2. パーソナルコンピュータの実習を通しての問題解決のためのアルゴリズムの修得
- に力点を置いていく。さらに
3. 情報社会の進展に応じた現代的な情報処理ツールの習得
- に配慮する。
- 〔教科書〕 間野・佐藤・中沢 共著『新BASIC教科書』（実教出版） ¥1,600
- 〔参考書〕 森口・小林・武市 共著『情報科学-3プログラムの読み方』（岩波書店）

## 原価計算論

近藤 禎 夫

1986年度においては、下掲のテキストにより以下に示す内容を講義する。

1. 資本制的原価計算の役割とその考え方
2. 原価計算の概要
3. 原価の費別計算
4. 原価の部門別計算
5. 個別原価計算の方法
6. 総合原価計算の方法
7. 標準原価計算
8. 経営計画と原価計算
9. 社会主義の原価計算方法

## 経済原論

中村 雄次郎

現在、わたくしたちが生活している社会は、重商主義時代の社会とも自由主義時代の社会とも著しく趣をことにしています。しかし、いずれにしても資本主義社会であることに変わりありません。経済原論は、このような資本主義社会が、どのような機構をもち、どのような法則にしたがって動いているのか、ということをはっきりと示すものです。講義では下記の教科書を用います。参考書や参考文献は、講義の際に紹介します。

〔教科書〕 岡崎次郎『経済原論』（法政大学出版局）

## 近代経済学

(前期) 谷 口 洋 志 一  
(後期) 滝 田 公 一

この講義では、マクロ経済学について解説する。まずはじめにGNP等の基礎的概念を明らかにし、それから国民所得決定論、IS・LM分析、総需要曲線と総供給曲線に基づく分析を順に解説していく。こうした議論を通じて、国民所得、利子率、物価水準、雇用量等の決定や財政・金融政策の有効性が明らかにされるであろう。

なお前半の講義では、基礎的な内容を十分に解説する予定である。

〔教科書〕 ウィリアム・H・ブランソン『マクロ経済学』上・下

## 日本経済史

北島 万 次

日本の戦国時代から幕藩体制社会にかけての経済史を扱い、余裕があれば幕末・維新期の経済史をも扱う。

〔教科書〕 北島万次他著『日本経済史』（有斐閣新書）

## 統計原論

後藤 儀一郎

統計学は経営学や経済学は言うにおよばず、医学、社会学、自然科学などの各方面で広く用いられている。およそ実証研究しようとするとき、統計学の知識なしに

きる場合というものは少ない。

統計学とは何か、統計学的考え方をどのようなものかについて、学習する。

〔教科書〕 吉野・後藤『現代統計解析』（芦書房）  
¥2,700

## 民法 I

山崎 敏彦

われわれの日常生活を規律する民法のうち、総則・物権法を扱う。その際、できるだけ多くの裁判例を示すことにより、よりよく理解していただけるよう努めたい。

聴講にあたっては、教科書のほか、小型のものでよいから「六法」を持参されたい。

〔教科書〕 我妻=有泉『民法I』（一粒社）

## プロゼミ II（経営コース）

小野寺 孝一

せっかく高校で高度の数学を勉強してきたのであるから、それを専門と結びつけないということは勿体ない。そこで多変量解析—数量化理論を学ぶことにする。受講者は、大村平著『評価と数量化のはなし』（1,200円）と小林龍一著『数量化理論入門』（2,000円）（共に日科技連出版社）を購入してよく読み、理解した内容を順番に他の学生にわかるように説明する。他の学生は自らもこれらを前もってよく読み、理解できないところを説明者に質問する。成績評価は出席し発言することに対しておこなう。発言なければ評価はゼロとなる。

## プロゼミ II（経営コース）

北村 健之助

企業と経営・企業家と経営者もしくは管理者、企業家、経営者と労働者、従業員等々の経営学の重要な問題を読むを通して議論し、経営学とは何かをじっくり考えていただくように努めたい。書物は開講当初にお薦めします。

## プロゼミ II（経営コース）

山田 勝

現代の商業経営について学びながら、経営の諸問題を認識することとする。ゼミとしての性格上、できるだけ教場での発表とレポートの提出の機会を多くとりたと思うので、受講生には勤勉な学習態度を要望する。

〔教科書〕 有斐閣ブックス『テキストブック現代商業学』（有斐閣） ¥1,600

## プロゼミ II（経営コース）

高田 光明

経営学部に設置されている専門科目は、すべて、企業の何らかの側面を研究対象としているといつてよい。そこで、このプロゼミ II では、経営学部で専門科目を履習していく際に不可欠な知識である企業に関する理解を深めることを目的とし、併せて、ゼミ（演習）へ進んだとき困らないように予備的訓練を行い、演習形式の授業に慣れることも意図する。

## プロゼミ II（会計コース）

長松 秀志

プロゼミ I に引き続き、会計学の勉強の第一歩である複式簿記の理論と記帳練習を行っていくとともに、コンピュータ会計の初歩を勉強するために必要に応じてパソコンの実習を行う。

〔教科書〕 沼田嘉穂『簿記教科書』、同『記帳練習帳』（同文館）

〔参考書〕 学年始めに指示する。

## プロゼミ II（会計コース）

久松 治夫

1年次のプロゼミは原価計算の基本理論に関するものであったが、2年次はその学習内容を継承し、より高度な領域に進んでいく。その内容は、個別原価計算、総合原価計算、標準原価計算、直接原価計算等を予定し、計算練習を中心に授業を進める。

〔教科書〕 久松治夫『原価計算論』（成文堂）

¥1,500

〔参考書〕 開講時に指示する。

## プロゼミ II（経済コース）

池田 健

例年大きな問題となっている国際的諸問題を時事的に研究して行きます。

## 商法 I

荒木 正孝

本講義は商法総則および会社法を対象として行うが、

とくに現代資本主義社会において我々の経済生活に大きな影響を与えている株式会社制度について、その生成、機能、構造等その私法的側面を規制する株式会社法に重点を置き、判例その他の具体例を挙げて解説したい。

〔教科書〕 荒木正孝『商法講義（総則・会社法）』（成文堂）

## 経営学史

北村 健之助

ドイツ経営経済学（前史、成立、1・2・3次方法論争、現代の経営経済学）およびアメリカ経営学（成行管理、科学的管理法、管理過程論、行動科学的展開）等々の発展過程を現代経営学を軸に探り、経営学の基本問題に迫ることができればと思います。テキスト、参考書は一応下記に示しましたが、必要があればその都度他の参考書をお勧めする積りです。

〔教科書〕 藤芳誠一『図説 経営学』（学文社）

## アメリカ経営学

宮城 徹

経営学がすこぶる間口の広い学問であることは否定しえない。こうして、アメリカ経営学における教科編成という観点からみれば、そこには多様な領域がカバーされるのでなくてはならない。この講座では、こうしたいわば多面的特徴をもつ、アメリカ経営学のほぼ全体的な姿を明らかにする、という趣旨で、最も先端的展開としてのプロパティ・ライツ理論に重きを置きつつ、かんたんに表現すれば、少なくとも、以下の項目を順次とりあげ講義を進めるつもりである。

(1)制度・新制度学派 (2)伝統的管理論 (3)意思決定理論 (4)企業の性格 (5)企業の経済的側面と組織的側面の統合化への傾向 (6)情報コスト (7)取引費用その他  
〔参考書〕 宮城 徹『企業の政治理論序説』（税務経理協会） ¥3,200

## 経営財務論

高田 光明

財務とは資本の調達と運用をいう。企業における財務の問題は、労務とともに、企業経営上重要な事からである。企業の財務を研究対象とする経営財務論は、所要資本の調達問題から、調達資本の運用問題へと研究の重点が移ってきている。この授業では、経営財務論の以上のような現状を考慮しつつ、基礎的な事からを中心に、理解を深めるために適宜事例も取り入れて講義するつもりである。基本的参考書等は授業の始めに指示する。

## 経営労務論

安藤 喜久雄

次の諸点を中心に講義を進めていく。

1. 労務管理の主要な学説、理論
2. 労務管理の発展
3. 労務管理の体系
4. 雇用管理
5. 教育訓練
6. 賃金・退職金
7. 労働時間・休日・休暇
8. 福利厚生
9. 労使関係

## 経営組織論

平山 健二

今日、これまでの機能的で分権化された組織では十分満足とはいえず、チームやシステム構造が現れている。また、普遍的な設計が存在するのではなく、各企業の使命や戦略にふさわしい重要な活動をめぐって、それぞれ設計されねばならないことを理解したい。

## 経営技術論

小野寺 孝一

経営技術論とは方法論である。にもかかわらず、それを経営の技術を教える科目であって、技術とは工学の古い呼称であるというものもいる。彼らの経営学に関する認識はあまりにも貧弱というほかない。ドイツ語に Betriebswissenschaft というのがあり、これを訳して経営技術というなら、これに対応する Betriebswirtschaftslehre (経営経済学) において Wissenschaft をどう考えるか。これを考えることは経営学の方法論となる。経営技術論とはこれを意味する。I 部で、「技術論論争」をふまえ、II 部で「個別資本説」を批判することにおいて、経営学の方法とは何かを考える。方法論は経営学の学び方、研究の方法を教えるものである。

〔教科書〕 『経営技術論』（白桃書房）

〔参考書〕 『経営学：方法論考：』（白桃書房）

## 経営情報論

加藤 武信

経営管理における MIS（経営情報システム）の特質、構造および機能について、理論と技術の両側面から考察

する。すなわち、①MISの基礎、②MISの理論と技法、③MISの役割、のそれぞれに関する内容、特徴および問題点を明らかにする。

現在、ME（マイクロエレクトロニクス）による技術革新が急テンポで進行し、その基盤に支えられた高度な情報化社会が到来しつつある。OA（オフィスオートメーション）の進展や第5世代コンピュータの開発計画により、企業における情報システムの構築内容がどのように変化するか、現時点で我々はどのような対策を講じるべきか等について検討を試みる。

〔教科書〕 長松秀志『経営情報システム』（白桃書房） ¥2,900

〔参考書〕 山本純一『経営情報論』（丸善）  
米花 稔『日本経営機械化史』（日本経営出版会）

## 経営科学

日下 泰夫

経営科学の基本的な考え方を中心に講述する。手法については、特別な数学的知識を必要としない範囲で、それらの構造と適用例を平易に紹介する。

1. 経営科学の概念（歴史、意思決定、科学的接近法、諸分野）と本講義の内容
2. 経営科学におけるモデルの役割
3. オペレーションズ・リサーチ（特徴、モデルの分類、線形計画法、動的計画法、在庫管理、待合わせ理論、シミュレーション、決定理論等）
4. 経済性分析（ねらい、比較の原則、基礎手法、設備投資分析）
5. 経営と情報（意思決定と情報、意思決定とコンピュータ、意思決定支援システム、人工知能）
6. 経営科学の展望（実施上の要件、意思決定へのインパクト）

〔参考書〕 開講時に紹介する。

## 公益企業論

石井 彰次郎

1. 公益企業概念の成立
2. 公益企業の実態形態
3. 競争と独占
4. 政府の規制
5. 公共企業体

以上のテーマの下、理論的・歴史的観点より解明を行う。

〔教科書〕 『公益企業の研究』（白桃書房）

## マーケティング論

武田 康

現代マーケティング論は経営システム論をベースとしてアメリカにおいて体系化された戦略経営論である。講義ではそれが発達を遂げた背景のアメリカの経済社会環境との関連において理論的体系を明らかにしてゆくこととする。

〔教科書〕 武田 康『整合戦略の経営』（創成社）  
¥3,200

## 商業経営論

森宮 勝子

商業経営論とは、生産者と最終消費者との中間にあって、商品もしくはサービスを購入・販売することを業とする中間業者の活動をその研究対象とする。低経済成長下の今日、商業経営も減量経営を余儀なくされ、新たな対応が求められている。又、所得水準の高度化にともなう消費者の的確な把握は、ますます難しくなりつつある。このような環境下において、商業経営は、いかに行われるべきかを立地分析、店舗管理、商品政策、仕入政策、商品管理、販売管理等の諸領域により検討する。

〔教科書〕 宇野政雄『新小売マーケティング』（実教出版） ¥2,100

〔参考書〕 梅沢昌太郎『小売経営戦略』（同友館）  
¥2,300

## 保険経営論

石名坂 邦 昭

今日、日本経済は世界的な景気の停滞と貿易摩擦の激化から輸出の減少傾向となり、一方国内の個人消費、住宅投資、設備投資が伸び悩むなど景気回復に暗い材料が多い。こうした中において高齢化問題など企業が克服しなければならないリスクが山積されている。そこで本講義においてはいかに各企業が企業危険に対処したらよいかといった観点から、リスク・マネジメントおよび保険を科学的にかつ実際の問題を取りあげながら行う。

〔教科書〕 石名坂邦昭『リスク・マネジメントの基礎』（白桃書房） ¥2,500

## 銀行経営論

近 沢 敏 里

銀行の経営は金融自由化の進行によって大きな影響を受けており、これまで金融当局の規制下に画一的な行動



をとってきた各金融機関は、自ら経営の責任を負わなければならない。

本講義においては、銀行経営に関する基本的な事項を中心に講究するとともに、急速に動きつつある金利の自由化、短期金融市場の発展と多様化、国際化など、新しい情勢をできるだけ紹介して行きたい。

〔教科書〕 『銀行読本』（東洋経済新報社）  
¥ 1,800

## 貿易経営論

武田 康

外国貿易が直接投資による多国籍化経営に発展している現実に対応して外国貿易、直接投資に関する諸問題の理論的側面を探究するとともに、日米両国の外国貿易と直接投資による現地生産の類型を歴史的視点から比較し総合商社をはじめ日本型国際経営の特質を講義することとする。

〔教科書〕 武田 康『国際経営の基礎的諸問題』（白桃書房）

## 日本経営史

斎藤 憲

新興財閥を中心に講義を進める。財閥と言うと一般には三井、三菱、住友等を中心に考えがちであるが、昭和戦前期、重化学工業化の進展の中で、これら既存の財閥に対抗して成長した企業集団があった。日産、日窒、森、日曹、理研がそれで、新興財閥と呼ばれる。これら諸集団は、著しい発展の後戦争経済の中で瓦解していき、その革新に満ちた経営は戦後経営の先取りであった。新興財閥の先進性と限界を顧ることによって、明治以降の日本経営史の流れを考えてみたい。特に本年度は、理研を中心に講義を進めたい。

〔教科書〕 宇田川勝『昭和史と新興財閥』（教育社新書） ¥ 800  
〔参考書〕 多数あるので、そのつど指示する。

## 経営統計

後藤 儀一郎

統計学、特に推測統計学の知識は経営学あるいは経済学分野においても広く用いられている。統計学はもはや資料の収集とそれを表や図で表わすだけのものではない。不確実性と危険を含むあらゆる状況を理論的かつ組織的な方法で考察する。推測統計学の理論を学びながらそれが実際においてどのように応用（例えば統計的品質管理、実験計画、線形計画等）されるかを、学習する。

〔参考書〕 吉野・後藤『現代統計解析』（芦書房）  
¥ 2,700

## 上級簿記

渡辺 恵一郎

1年次の「簿記学」を基礎に、その応用能力を養い、簿記の理論を、問題解答、解説により展開する。各種の簿記検定試験や国家試験（公認会計士、税理士など）に挑戦する意欲のある人々が受講するように希望する。なお、授業時間には、指名、割当制により問題解答をしてもらう。

〔教科書〕 開講の時に指示する。  
〔参考書〕 『体系会計諸則集』（白桃書房）

## 財務会計論

久松 治夫

外部報告としての財務会計は、決算報告的のもので、全体的基本的性格をもつものである。本年度は下記の教科書を使用し、会計公準、会計原則、損益会計、資産会計、負債資本会計および財務諸表について講義を進める予定である。

〔教科書〕 新井清光『財務会計論』（中央経済社）  
¥ 2,700  
〔参考書〕 開講時に指示する。

## 管理会計論

長松 秀志

現代管理会計の論拠、本質、対象、方法、発展過程、計算構造、現実的役割および実践的問題について体系的に説明する。とくに現代管理会計の中心課題である意思決定会計と情報会計の理解を深めるよう講義する。

〔教科書〕 長松秀志『現代管理会計』（税務経理協会） ¥ 2,900  
〔参考書〕 学年始めに指示する。

## 経営分析論

片桐 伸夫

経営分析の伝統的、基本的方法から現在着目されている方法までを大略、以下の要領で講義する予定ですが、特に伝統的、基本的方法である収益性、流動性、生産性の分析にポイントを置きます。

1. 収益性分析
2. 流動性分析

3. 生産性分析
4. 成長性分析
5. 社会性分析

〔教科書〕 開講の時指示します。

## 税務会計論

鈴木明男

今日租税の問題は広く国民的関心をよびおこしている。それは国家財政の立て直し手段としての税収増の方法と、その負担者としての納税者の課税の公平への要求や重税感への不満、国際経済摩擦の一環としての国際租税比較等をめぐる論争となっている。

税務会計の目的は適切な課税所得の算定であるが、適切な課税標準を追究することは単に一個人にとってだけでなく上述の問題解決への手がかりとなろう。税務会計は現行税制にもとづく課税所得計算とあるべき姿を究明する方向とが考えられ、また法人領域と個人領域とのそれとが考えられるが、本講義は現行法人領域での研究を中心とし、個人領域の所得税や間接税問題にもふれたい。

〔教科書〕 後日指定する。

## 会計監査論

中平榮一

主として、独立監査人による財務諸表監査の問題をとりあげて、詳しく講述する。なお、当然、監査役監査及び内部監査の基本的問題についても論及する。

## 証券市場論

柿崎暎次

下記により証券市場の構造分析、現状分析を行う。

1. 株式・債券の発生
2. 国民経済と証券市場
3. 証券市場の歩み
4. 株式市場
5. 公社債市場
6. 証券取引所
7. 証券会社
8. 投資信託
9. 証券金融

〔教科書〕 『日本の証券市場』（財経詳報社）

〔参考書〕 上林正矩『証券市場論』上・下（千倉書房）

## 商業史

山田勝

現代商業の生成過程を、貿易を中心に講義する。特に商人（社）を中心にすえ、現代商業との関連に留意しつつ行う。対象とする時代は欧米については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 山田勝『近代イギリス貿易経営史（増補版）』（創成社）¥2,300

## 経済政策

西山司

本年度の経済政策の講義は、経済政策の理論および経済政策の史的展開過程の解明を中心に、各国で実施されている現代の経済政策についても論述する予定である。

特に「価値判断」論争をめぐっての諸問題点や、従来の経済政策論の主要な学説を検討するとともに、経済学体系における経済政策論の理論的位置を論究し、その果すべき課題を究明して、経済政策論の体系的な解明をおこなうように努める。

〔教科書〕 ノートを中心に講義する。

〔参考書〕 清水・松原 編『経済政策論を学ぶ（新版）』（有斐閣）

## 財政学

西村紀三郎

現代のもろもろの財政問題打開の処方箋を書くための論理を具体的な状況理解の下で考えたい。そのために、

1. 財政学の発展過程を概説し、その間の財政問題を解説して、財政学が当面している諸問題を提示する。
2. 財政学で通常とりあげる原理、原則、法則等を概説し、その現代的意義を検討する。原理は今も妥当か。
3. 財政活動の理論的整理把握のため、財政の現実体の理解を図る。財政の制度、歴史、現状等を解説する。
4. 財政の理論、制度、歴史、実体の理解にもとづいて財政政策の課題を求める。財政再建は政策課題か。
5. 財政再建が唱えられてから久しい。財政再建は果して緊急な財政政策の課題なのだろうか。

〔参考書〕 ①肥後和夫編『財政学要論』〔第3版〕（有斐閣）

②西村紀三郎『財政学新論』〔第二増補版〕（税務経理協会）

## 金融論

石野典

金融論は、資金の貸借ないし資金の流れをマクロ的な視点から考察される。昔はMoney and bankingと呼ばれ、貨幣や銀行を中心に展開されていたが、今日の金融現象は、さらに広く証券業を含めて考察されねばならない。したがって、利子を中心とした広義の金融現象を理解されるように、主として構造論的な視角で展開したい。だからミクロの立場から金融資産の選択については除かれる。

なお、最近の金融現象の変化は激しいので、それに対する見方も示してゆきたい。講義はノート形式で、テストは1回だが、年に一度、金融に関する読書感想文の提出を求める。

〔参考書〕 原 司郎編『テキストブック金融論』  
(有斐閣) ¥2,000

## 国際経済論

永田智則

個々の経済主体が国境を越えておこなう経済活動は、国際経済における固有の相互依存と相互対立を生みだし、さまざまな国際経済現象をひきおこす。本講義ではこれら国際経済現象の解明の手がかりの習得を目的として、国際経済の基礎理論を簡潔かつ平明に提示する。

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 国際金融論

池田健

拙著国際金融論により国際金融の理論を講じ、なお必要により時事問題を解説する。

〔教科書〕 池田 健『国際金融論』

## 民法Ⅱ

河野弘矩

開講時に指示する。

## 外書講読(英)

渡辺行男

外国文献の講読を通じて、企業・経営に関する理解を深める。なお、利用する文献や内容については、開講時に受講者と相談して決定する。

## 外書講読(英)

羽鳥茂

計量経済学は、経済学を学ぶ者にとって、いまや常識である。本年度の外書講読においては、計量経済学の考え方や方法を英文のテキストを用いて解説したいと考えている。計量経済学を本格的に学ぼうとすれば、統計学や数学(特に、微分・積分と線形代数)の知識が不可欠であるが、適時それらを必要な範囲内で解説しながら授業を進める予定である。なお、経営分析の分野でも多変量解析として計量経済学の成果の一部が応用されているようなので、その分野に興味のある諸君にも関心を持ってもらえると思う。

〔教科書〕 Johnston, J., *Econometric Methods*,  
third edition, McGraw-Hill  
(International Student Edition)

## 外書講読(英)

平山健二

経営コース(会計でなく)の講読をしますが、テキストは初回の授業で決めます。

## 外書講読(英)

木下照嶽

現代は企業活動の国際化時代の真直中にある。したがって、企業活動の会計・経営に関する、調査・取引・記録報告・データ分析・意思決定といった資料は、英語を中心とした外国語化する時代にある。将来の企業人は、こうした諸種のデータを、理解し、作成し、利用し、分析する能力が必須となる。こうした観点から、会計・経営データが形成される背後の理論、すなわち、転換期の企業活動に関する財務会計を中心に、インフレーション、発展途上国、多国籍企業も、企業の社会的責任に

関する会計データ等の文献を、広い視野に立って渉猟して、語学力の向上とこうした問題への関心を深めたいと考えている。

毎時間プリントを用意する予定である。

### 外書講読(独)

百 濟 勇

1970年代以降の世界経済の発展において、国際的に新しい現象の一つは、日本経済の世界に占めるポテンシャルの急速な増大である。こうしたことが、アメリカ合衆国や西ヨーロッパ諸国での「日本的経営」に関する議論の高まりの背景をなしている。彼らの日本経済にたいする問題提起や研究方法などを知ることは、同時に国際的に経済管理システムを比較することでもある。「日本的経営」に関してドイツ語による的確な表現の訓練も含めて、日本経済の海外直接投資の動向をもフォローする予定。テキストはプリント(コピー)で配布する。

〔教科書〕 I. Momozumi, "Zur Entwicklung des Managements des japanischen Monopolkapitalismus", Hochschule für Ökonomie zu Berlin, 1985

### 外書講読(仏)

中 村 雄次郎

1. 受講者がこれまでに習得してきた学力にあわせてテキストをえらび、講読をすすめたいと思います。
2. (a)講読にあたり、フランスの経済や経済学を学ぶことはいうまでもありませんが、そのためには経済のみならず、広く文化現象をも取り上げる必要があります。

(b)最近、日本に対する諸外国の関心が、ただ単に経済のみならず、諸々の文化についても高まっているように思われます。わたくしたちは自国の経済や文化を学びなおし、これを正しく伝える必要があります。

(c)フランス側からも日本経済の研究がなされ、その成果が発表されています。

さし当り、(c)の検討より始め、(a)の必要をみだし、できれば(b)まで進みたいものです。

### 外書講読(中)

松 本 丁 俊

近隣の中国は広大な国土と人口をかかえ、長い歴史、伝統と高度な文化を有する社会主義国家である。現代中国の正しい認識を知る為の論文を読み合せながら、授業

を進める。

〔教科書〕 プリント使用。

### 外書講読(ス)

佐 藤 玖 美 子

スペイン最大の発行部数を誇るEI pais紙の、特に経済、社会面の講読を行う。学生諸君が1、2年で習得したスペイン語の知識の深化、発展をはかると共に、念願のEC加盟を実現したスペインの現代の情勢を把握することを目指す。

〔教科書〕 プリント

### 商 法 II

島 原 宏 明

現代取引社会における金融の用具としてきわめて重要な地位にある手形および小切手について、その法理論的な構造をあきらかにするとともに、手形・小切手をめぐり実際上のトラブルとそれに対する法的解釈を、判例等を参照しながら考察していく。なお、受講の際には、必ず六法全書(小さなものでよいがなるべく新しいもの)を携行すること。

〔教科書・参考書〕 開講時に指示する。

### 労 働 法

竹 下 英 男

集团的労働関係法(労組法、労調法、官公労働法)を中心として講義を行う。なるべく判例や具体的事例をとりあげて説明するので、労働法に関する新聞の記事には目を通しておいてほしい。

〔教科書〕 中山・竹下編『労働法の主要問題』I (エイデル研究所) ¥2,300

〔参考書〕 竹下英男『官公労働法』(一粒社) ¥1,800

# 教職および資格講座

教 職 課 程  
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座  
博 物 館 学 講 座  
社 会 福 祉 主 事 講 座  
社 会 教 育 主 事 講 座

※上記の教職および資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講出来る課程および講座は以下のとおりである。（履修についての詳細は「教職課程・資格講座の履修要項」を参照）

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学 校 図 書 館 司 書 教 諭 講 座	全 学 部
博 物 館 学 講 座	文 学 部 ・ 仏 教 学 部
社 会 福 祉 主 事 講 座	全 学 部 （ 59 年 度 入 学 生 より 適 用 ）
社 会 教 育 主 事 講 座	文 学 部 ・ 経 済 学 部 ・ 法 学 部 ・ 経 営 学 部



# 目 次

教育原理(磯野 昌蔵)……………	1	政治学原論(上野 末夫)……………	7
教育原理(上岡 安彦)……………	1	民法 I(山崎 敏彦)……………	7
教育原理(村山 輝吉)……………	1	哲学特講 I(東洋)(篠原 壽雄)……………	7
教育原理(坂本 信昭)……………	1	哲学特講 II(西洋)(國嶋 一則)……………	7
教育原理(北村 三子)……………	1	宗教学特講 I(松田 文雄)……………	7
青年心理学(大浜 幾久子)……………	1	宗教学特講 II(脇本 平也)……………	8
青年心理学(藤崎 春代)……………	1	宗教学特講 III(洗 建)……………	8
青年心理学(牟田 悦子)……………	1	教育史(磯野 昌蔵)……………	8
青年心理学(渡辺 三和子)……………	2	宗教教育(櫻井 秀雄)……………	8
教育心理学(大浜 幾久子)……………	2	教育関係法規(船木 正文)……………	8
教育心理学(藤崎 春代)……………	2	図書館学 I(山崎 慶子)……………	8
教育心理学(中村 均)……………	2	図書館学 II(源 昌久)……………	8
教育心理学(荻野 美佐子)……………	2	博物館学 I(倉田 芳郎)……………	8
教育心理学(渡辺 三和子)……………	2	博物館学 II(熊野 正也)……………	9
道德教育の研究(坂本 信昭)……………	2	博物館実習 I(館務)(倉田芳郎・清水潤三)…	9
教育実習(磯野 昌蔵)……………	2	博物館実習 II(収集)(倉田芳郎・所理喜夫 葉貫磨哉・太田喜美子)…	9
教育実習(上岡 安彦)……………	2	博物館実習 III(見学) (倉田芳郎・太田喜美子)…	9
教育実習(村山 輝吉)……………	3	博物館実習 IV(特講)(58年度以前入学生適用) (熊野 正也)……………	9
教育実習(坂本 信昭)……………	3	視聴覚教育(赤堀 正宜)……………	9
教育実習(北村 三子)……………	3	日本文化史 II(圭室 文雄)……………	9
国語科教育法(神谷 道倫)……………	3	印度仏教文化史(奈良 康明)……………	9
書道科教育法(谷村 義雄)……………	3	西洋文化史 I(椽川 一朗)……………	10
宗教科教育法(松本 皓一)……………	3	西洋文化史 II(三小田 敏雄)……………	10
英語科教育法(大沢 一雄)……………	4	仏教美術(林 良一)……………	10
社会科教育法(地理)(高木 久)……………	4	現代美術(宮崎 克己)……………	10
社会科教育法(地理)(前期)(長野 覚) (後期)(中島義一)……………	4	禅美術(竹内 尚次)……………	10
社会科教育法(歴史)(野呂 肖生)……………	4	美術史概説(林 良一)……………	10
社会科教育法(谷敷 正光)……………	4	西域美術史(林 良一)……………	10
社会科教育法(長谷部 八朗)……………	4	考古学概説 I(日本)(倉田 芳郎)……………	11
社会科教育法(大久保 治男)……………	5	考古学概説 II(外国)(量 博満)……………	11
職業科教育法(佐藤 規子)……………	5	考古学特講 I(高浜 秀)……………	11
商業科教育法(谷敷 正光)……………	5	考古学特講 III(川又 正智)……………	11
商業実習(前田 幸一)……………	5	日本民俗学(山折 哲雄)……………	11
職業指導(山田 勇治)……………	6	仏教民俗学(和田 謙寿)……………	11
産業概説(前田 幸一)……………	6	宗教人類学(佐々木 宏幹)……………	11
世界史概説(中村 道雄)……………	6	考古発掘実習(寺社下 博)……………	11
世界史概説(渡辺 惇)……………	6	社会福祉概論(岡田 真)……………	12
日本史概説(芥川 龍男)……………	6	障害福祉論(原田 信一)……………	12
日本史概説(波田野 富信)……………	6	社会福祉実習 I(岡田 真)……………	12
地誌学概説(今朝洞 重美)……………	6	社会福祉法制(小林 弘人)……………	12
地誌学概説(長野 覚)……………	6	公的扶助論(近藤 功)……………	12
地誌学概説(渡邊 盾夫)……………	6	児童福祉論(原田 信一)……………	13
自然地理学概説(早船 元峰)……………	7	老人福祉論(奥山 正司)……………	13
人文地理学概説(高木 久)……………	7	社会保障概論(藤井 康)……………	13
社会学原論(渡辺 源樹)……………	7		
経済原論(小野 俊夫)……………	7		

地域福祉論 (岡田 真) .....	13
ケースワーク論 (高橋 重宏) .....	13
グループワーク論 (松本 栄二) .....	14
社会福祉事業発達史 (林 千代) .....	14
母子福祉論 (林 千代) .....	14
医療社会事業論 (春見 静子) .....	14
社会福祉方法総論 (高橋 重宏) .....	14
社会福祉管理運営論 (重田 信一) .....	14
リハビリテーション論 (原田 信一) .....	15
社会教育概論 (磯野 昌蔵) .....	15
社会教育方法論 (村山 輝吉) .....	15
社会教育行政財政 (酒匂 一雄) .....	15
教育社会学 (熊谷 一乗) .....	15
社会心理学 (坪井 健) .....	15
社会教育施設 (村山 輝吉) .....	15
児童文化 (富田 博之) .....	16
青少年問題研究 (和田 謙寿) .....	16
青少年指導演習 (和田 謙寿) .....	16
社会教育演習 (上岡 安彦) .....	16
教育評価 (大浜 幾久子) .....	16
成人指導及青少年指導 (酒匂 一雄) .....	16
生活指導 (秋山 達子) .....	17
教育哲学 (汐見 稔幸) .....	17
教育調査 (大塚 雄作) .....	17
教育学特講 (熊谷 一乗) .....	17
政治学原論 (福岡 政行) .....	17



## 教育原理

磯野昌蔵

教育とは何か  
中等教育の歴史と問題  
学校教育の役割

## 教育原理

上岡安彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次にそこで、でてくる問題について日本の現象を例として教育学的に考察します。

そして最後に原典に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕 『エミール』〔上・中・下〕（岩波文庫）  
上 ¥ 550, 中 ¥ 450, 下 ¥ 450

〔参考書〕 『教育の原理』〔Ⅰ・Ⅱ〕（東大出版会）  
Ⅰ ¥ 1,500, Ⅱ ¥ 1,500

## 教育原理

村山輝吉

主として下村湖人の著作などを手がかりとして、人間の発達と教育、文化、社会の関わりを軸とする「教育」の原理的考察をおこない、あわせて教育の制度、形態、内容、方法のもつ意味と問題を社会的歴史的な視座からアプローチしてみたい。

〔参考書〕 『下村湖人全集』全10巻（国上社）  
『教育の原理Ⅰ、Ⅱ』（東大出版会）

## 教育原理

坂本信昭

下記のテーマを「問題」としてとりあげ、ともに考えていきます。

1. いま教育のめざすもの
2. ひとの適応・成長・発達
3. 家庭の役割・地域の働き
4. 人格をはぐくむ
5. 学校への期待
6. よりよい授業に向けて
7. 学習をふかめる
8. 教師を育てる
9. 教育制度をみなおす

10. 障害児とともに
11. 内なる差別を考える
12. 学びへの出発

〔教科書〕 田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥ 1,800

〔参考書〕 教師養成研究会『教育原理』（学芸図書KK）¥ 950  
デューイ著・宮原誠一訳『学校と社会』（岩波文庫）¥ 200

## 教育原理

北村三子

人間社会・人間文化の営み全体の中で教育のありようを問い直してゆくことを目指して、教育の制度・形態・内容・方法をめぐる諸問題や、それらを規定している社会的・歴史的諸問題を考察してゆく。

〔参考書〕 堀尾輝久・松原治郎・寺崎昌男編『教育の原理Ⅰ人間と社会への問い』  
稲垣忠彦・柴田義松・吉田章宏編『教育の原理Ⅱ教師の仕事』（東大出版会）  
1985年Ⅰ・Ⅱとも¥ 1,500

## 青年心理学

大浜幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考察する。その上で青年期の様々な問題をとりあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介、解説していく。また性格テストなどの実習も行う。

## 青年心理学

藤崎春代

開講時に指示する。

## 青年心理学

牟田悦子

人間の発達の中で青年期がどのような意味をもつかを考えながら、青年期の様々な特徴を見ていく。また、現在の学校教育の中で問題になっている様々な事象に対して、各自が考え、自分なりの判断力をもつこともこの授

業のねらいとしたい。

## 青年心理学

渡辺 三和子

大人でも子どもでもない中間的な存在の青年期は、人間の成長のなかで最も激動する時であり、それだけに中高生を理解するのは難しくまたおもしろい。おもにこの時期の精神的な病理現象をとりあげ、そこから現代の中学校・高校教育のおかれている状況と問題点について考えていきたい。

〔参考書〕 笠原 嘉『青年期』（中公新書）

## 教育心理学

大浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題をとりあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また知能テストなどの実習も行う。

## 教育心理学

藤崎 春代

開講時に指示する。

## 教育心理学

中村 均

1. 発達  
子どもはどのように大人になるか。子どもは大人とどう違うか。
2. 学習  
どのような仕組みで学習は起こるのか。学習を促進させるにはどうしたらよいか。
3. 知能・学力・創造性
4. 人格  
一人一人の違いはどうとらえればよいか。
5. 学級集団  
学級集団はどのような役割を果たすのか。
6. 教育評価

## 教育心理学

荻野 美佐子

教育の場がかかえている問題をきちんと捉え直すことから出発し、問題を解決するために自分で考える態度を形成したい。また、現象を多角的に科学的に見ることができるよう基本的な知識の整理をする。具体的には、子どもの発達、教授＝学習、評価及び教師と生徒のかかわりの問題を主に扱う。

〔参考書〕 開講時に指示する。

## 教育心理学

渡辺 三和子

学ぶことと成長すること、学習活動とは何か、生徒を理解する方法、さまざまな授業の型、集団としての学級、学習の評価等基本的な教育心理学の考え方を学ぶ。また教育の荒廃が語られる昨今、今日の学校教育の問題点を探り、教師としてめざすべき方向について考える。

## 道徳教育の研究

坂本 信昭

開講時に指示する。

## 教育実習

磯野 昌蔵

### 実習前の指導

教育実習についての諸注意

学習指導のための準備

### 実習期間中の指導

### 実習後の指導

グループに分かれ、教育実習の体験をもとにして、学習指導や生活指導の問題を検討する。

## 教育実習

上岡 安彦

### 事前指導

学校の教師としての仕事について講義

学習指導案作成実習

## 訪問指導

実習期間の研究授業参加

## 事後指導

デューイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥250

『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥300

デューイ『学校と社会』（岩波文庫）  
¥300

## 教育実習

村山輝吉

教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるため、年間を通じて次の事項を取りあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはきんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 教育実習

坂本信昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容（領域）に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成・提出、グループ編成による授業（ディスカッション）を行い、教育への理解を深め、望ましい教師像について一緒に考えたいと思う。参考書は、下記以外にも授業で適宜紹介する。

〔参考書〕大村はま『教えるということ』（共文社）  
¥480

『中学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥250

『高等学校 学習指導要領』（大蔵省印刷局）¥300

田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート（エイデル研究所）¥1,800

## 教育実習

北村三子

教育実習前は、実習に際しての注意や心構えなどを中心とする事前指導を行ない、実習後は、現場での体験を相互に交換し、深め合いつつ、学校教育の諸問題や教師の課題などについて考え合う。

## 国語科教育法

神谷道倫

前期は中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、あるいは教材に即したそれぞれの指導方法等について講義、後期は実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方・指導事項・方法等主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

〔教科書〕『中学校・高等学校 国語科教育法（新編）』（桜楓社）¥1,200

## 書道科教育法

谷村義雄

文字を書くことは誰でもできることで決してむづかしいことではない。しかし、書は中国においては四千年の歴史があり、日本においても千数百年の歴史がある。この間にいろいろな書体が出来、そしていろいろな書法が生れた。書の芸術は悠遠の歴史の中で開花したもので、現在もまた現在の書が生れつつある。書を単なる文字記号と考える浅薄な思想に対して、書のもつ思想性、民族性を十分に理解して、書とは何かを改めて問いたずら授業にしたいと思う。教育法はどう教えるかではなく、なにを教えるべきかを探求する内容にしたい。

〔参考書〕学習指導要領解説『芸術科』

## 宗教科教育法

松本皓一

宗教科教授法としての理論と実践上留意すべき諸問題を述べる。

〔教科書〕特に指定せず。但し、講義中に教材として指定するものあり。

## 英語科教育法

大 沢 一 雄

多くの学者によって唱えられてきたいろいろな外国語教育法を検討し、わが国の英語教育において、どのような教授法を用いたらよいか、発音、語彙（い）、文法等の指導はどのようにしたらよいか、などを考える。講義は、ノートとプリントによっておこなう。

## 社会科教育法（地理）

高 木 久

1. 教師としての在り方
2. 地理学方法論の確認
3. 地理教育について
4. 新学習指導要領の内容
5. 地図指導
6. 教育実習の意義
7. 学習指導案の研究
8. 模擬授業

前期において講義を中心とし、後期においては教室での演習を専一とし、その批判・反省を行なって行く。

## 社会科教育法（地理）

（前期）長 野 覚  
（後期）中 島 義 一

中学校・高等学校の社会科（地理）につき、指導計画、指導案の立て方、教材研究、修学旅行の指導法等につき講義し、続いて学生諸君が交代で壇に立って、中学校の教科書（これについては授業時に指示）を使用しての授業演習を行う。なお出席を重視する。

〔教科書〕 山崎謙哉『新訂地理教育の本質と実践』（古今書院）

〔参考書〕 授業時に指示する。

## 社会科教育法（歴史）

野 呂 肖 生

「中・高等学校の現場で社会科の授業をするさいに役立つように」を目標とし、社会科教育（とくに歴史）の理論と実践を学ぶ。とくに個性を重視したい。

## 社会科教育法

谷 敷 正 光

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後日本資本主義発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。

したがって、しっかりと社会科教育を樹立するため、単なる教授方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原則とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。年間の授業計画は次の通りである。

①戦後日本資本主義の発展と教育、②教育の基本概念、③日本資本主義の発展と社会科教育、④社会科教育の基本概念、⑤中学校・高等学校の教育課程と社会科、⑥社会科の学習指導、⑦学習指導案の作成、⑧中学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑨高等学校社会科の目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての社会科授業実践の研究、⑬社会科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。）

〔教科書〕 梶 哲夫『中等 社会科教育研究』(I)

（高陵社）

遠山 啓『競争原理を超えて』（太郎次郎社）

〔参考書〕 矢川徳光『教育とは何か』（新日本出版新書）

無着成恭『山びこ学校』（角川文庫）

その他、若干のルポ、小説、社会科の教科書、中学校・高等学校学習指導要領も使用する。

〔注 意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

## 社会科教育法

長谷部 八 朗

学校教育が混迷の度を極めている今日、社会科に寄せられる期待はとりわけ大きいといえよう。それは社会科が、生徒の人格形成の枢軸をにない、主体的な社会認識や態度を習得させるところに本来の意義を有しているからに他なるまい。本講義では、この点を踏まえつつ、社会科および社会科教師の果たすべき役割について論じ合

ていきたい。具体的な進め方として、前期でわが国の社会科教育の歴史の変遷を鳥瞰的につかみ、後期で教材研究、学習指導、教育評価などの諸テーマを掘り下げて考察する予定である。

なお、受講者の講義参加意識を高めるため、できれば小論文や口答発表を実施する機会も持ちたい。

## 社会科教育法

大久保 治 男

現下山積する教育上の諸問題を意識しつつ、社会科の教科教育法により効果的実践方法を探究する。学校教育における高校の「政治・経済」「現代社会」中学の「公民」など社会科系列の検定教科書や学習指導要領を分析しつつ社会科教育法の目標、構成、内容等について考究する。さらに具体的に指導計画、指導案、指導方法、教材研究、教育評価については、受講生をグループ別にし模擬教育実習を通じて実践させることで目的教育方法を発見させるよう努める。OHP、スライド、8ミリ、ビデオ等視聴覚教育器機も使用しつつ一方的講義でなく受講生にも積極的に学習参加させ、将来の教師としての自覚や意欲を持たせ楽しい講義となるよう配慮する。

〔教科書〕 その都度指示する。

〔参考書〕 『学習指導要領』（中学・高校の社会）各自が使用した社会関係の教科書。

## 職業科教育法

佐藤 規 子

職業教育は、教職を志す者に必要であるばかりでなく職業人として社会で貢献するうえでも重要である。本講座では、教職を志す者にすぐ役立つように、前期は職業教育の基礎知識を体系的に講述し、後期は職業教育をテーマに話し合いながら、指導の実践までを取扱う。

（前期） 一基礎編（教材研究を中心）一

- ①職業教育の意義及び重要性
- ②新しい職業教育
- ③職業教育の基礎知識・技能

（後期） 一応用編（指導実践を中心）一

- ①職業科目から指導案を作成し、模擬授業
- ②教育上の問題について研究発表

## 商業科教育法

谷 敷 正 光

「職業教育」（産業教育）の一つである商業教育は、日本の資本主義をささえる重要な一環としてつねに重視

され、産業構造の高度化、経営革新にともなうめまぐるしく変遷してきた。そして、高度成長期の高校教育の「多様化」政策の破綻にともなう、商業教育は大きく軌道修正されさらに、先端産業化時代をむかえ、再び修正されようとしている。従って、本講は「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりとした商業教育を樹立するため、この「教科法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論、職業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。年間の授業計画は次の通りである。

①日本資本主義発展と教育・職業教育、②教育の基本概念、③職業教育、商業教育の概念、④高等学校における商業教育の現状と課題、⑤高等学校の教育課程、⑥商業科の教育課程、⑦商業科の学習指導、⑧学習指導案の作成、⑨商業教科・科目の個別目標・内容・取り扱い、⑩教育評価、⑪教育実習の意義、⑫模擬授業を通じての商業科授業実践の研究、⑬商業科教師論、⑭教員採用試験の準備と今年度の採用試験について（教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する。）

〔教科書〕 田中義雄『商業科教育論』（多賀出版）  
矢川徳光『教育とは何か』（新日本新書）

〔参考書〕 竹内 宏『日本の学歴社会は変わる』  
（有斐閣）

田代三良『高校生』（岩波新書）  
神田 修『学校からみた教育政策』（有斐閣）

その他、商業の教科書、高等学校学習指導要領、新聞の切り抜き、雑誌、ルポ、小説なども使用する。

〔注意〕 年間かなりの資料を作成配布するので、必ずファイルを用意すること。また年間、数回校外研修（授業参観）などを行う予定である。

## 商 業 実 習

前 田 幸 一

商品取引における事務手続きについて勉強をしていく。

## 職業指導

山田 勇治

学校における進路指導とは、中学・高校の卒業時における就職や進学の一環たる斡旋指導ではなく、個々の生徒の発達段階に応じて、その能力・適性等を伸長し、生徒自ら望ましい進路を選択・決定させ、その後の職業生活において自己実現できるように指導し、援助する活動をいう。ところが現状では、学力などによる振り分けが横行し、本来あるべき進路指導には程遠い。

そこで、こういった学校進路指導の現状を文部省の実施した実態調査などによって明らかにしてみたい。

また、将来職業につくための準備教育、つまり職業教育についても講述する予定である。

〔教科書〕 山田勇治著『会計教育論』（創成社）  
¥ 1,300

〔参考書〕 近藤大生・有本 章編著『職業と教育—職業指導論—』（福村出版） ¥ 1,500

## 産業概説

前田 幸一

日本の主要な諸産業を順次とりあげ、各産業についてその特性と歴史、現状と問題点を勉強していく。

〔教科書〕 宮沢健一・竹内 宏編『日本産業教室』（有斐閣） ¥ 1,400

〔参考書〕 日本興業銀行産業調査部編『日本産業読本』（東洋経済新報社） ¥ 1,800

## 世界史概説

中村 道雄

主にヨーロッパおよびアメリカ世界の歴史を概説する。参考書にはこの外高校時代の世界史教科書も利用される。

〔教科書〕 衣笠・田村・中村・廣實『概説西洋史』（東京創元社）

〔参考書〕 帝国書院編集部編『評密世界史地図』（十二訂版）（帝国書院）

## 世界史概説

渡辺 惇

アジアの歴史を地域的に東アジア、東南アジア、南アジア（インド）、西アジア、内陸アジアに分け、それぞれの歴史的世界の風土、歴史展開の特色等について講義する。

〔教科書〕 特に定めず、プリント・資料を配布する。

## 日本史概説

芥川 龍男

中世に焦点をおいて講義する。講義の中で参考文献などを紹介するが、積極的に読破して欲しい。評価はレポートおよびテストなどを総合的に見て評価する。

教科書・参考書はとくに指定しない。開講時に詳細な注意事項を話します。

## 日本史概説

波田野 富信

時間数の関係から、日本史全般を各分野にわたって講ずることは不可能に近いから、日本の歴史の流れの中からそれぞれ重要事項をとりあげて理解してもらおう。従って各々がそれぞれに前もって予習をしてきて欲しい。

〔参考書〕 『新稿 日本史概論』（吉川川弘文館）  
¥ 1,500

## 地誌学概説

今朝洞 重美

地誌学の本質論を説明しつつ、日本地誌と外国地誌を講義する。

## 地誌学概説

長野 覚

世界的視野において地理学の発達・概念を理解したのち、現代世界の地域特色を、自然環境やそれと関連性をもつ人文現象について考察する。

後期には幾つかの国を対象に、その国の地誌を学習する。受講にさいしては、できるだけ地図帳を併用してほしい。

〔教科書〕 藤岡謙二郎共著『世界地誌』（改訂版）（大明堂）

## 地誌学概説

渡邊 盾夫

読図の方法を理解したのちに、各国の地誌について日本地誌と比較しながら講義する。受講希望者は地図帳を持参して下さい。

## 自然地理学概説

早 船 元 峰

人間生活の舞台である大地の形成過程について講じ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意(10枚程度)させ、それらをもとに種々なる作業(土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成)をさせてより一層の理解を深めさせる。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意すること。

## 人文地理学概説

高 木 久

地理学思想・歴史を述べ、歴史地理学の立場から人文地理学の方法論を考察する。

「地理的な見方、考え方」の基礎の上に立って、人文地理学の各部門(地図、自然、人文関係)について概説し、人文地理学の理解と関心を深める。

## 社会学原論

渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 経済原論

小 野 俊 夫

いわゆる近代経済学の立場から、近年の学問的成果をも考慮し、現代経済学の基本を解説し、複雑な現代経済を理解しうる力を養うことを目指す。

〔教科書〕 開講の際に指示する。

## 政治学原論

上 條 末 夫

開講時に指示する。

## 民法 I

山 崎 敏 彦

われわれの日常生活を規律する民法のうち、総則・物権法を扱う。その際、できるだけ多くの裁判例を示すことによって、よりよく理解していただけるよう努めたい。

聴講にあたっては、教科書のほか、小型のものでよいから「六法」を持参されたい。

〔教科書〕 我妻=有泉『民法I』(一粒社)

## 哲学特講 I (東洋)

篠 原 壽 雄

中国の哲学・東洋思想を理解しようとする、儒教・仏教、そして道教の学習は欠かせない。そこで前期は老荘の学と道教を学びたい。後期には墨子の非命、非儒などの精神が韓非子にいかにか受容されたかなどを中心に、先秦の人びとの心にあるものを探りたい。ついで荘子を学び、併せて中国禅思想を考究したい。

〔教科書〕 『荘子』第一冊(岩波文庫)

## 哲学特講 II (西洋)

國 嶋 一 則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。

歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとしたい。

〔参考書〕 その都度示す。

## 宗教学特講 I

松 田 文 雄

——宗教思想および用語の概説——、特に教職単位であることを考慮し、宗教思想の潮流、および宗教思想史上の基本的用語を概説する。今年度は日本仏教を取り上げる。

〔参考書〕 随時指示する。

## 宗教学特講Ⅱ

脇本平也

——宗教現象の構造——宗教現象は、その内部にさまざまな構成要素をはらんだ複合的な体系をなしている。たとえば、宗教体験、思想・教義、儀礼、教団などの諸契機が構造的に関連しながらこれを形成している。そうした構造の分析と類型化を試みる。

〔教科書〕 脇本平也『宗教を語る—入門宗教学—』  
(日新出版)

## 宗教学特講Ⅲ

洗建

現代社会における宗教の問題、とりわけ政教関係の問題をとりあげる。国家と宗教の関係を規定する法制度とその価値規範、更に底流をなす宗教文化との関係などについて考察する。

〔参考書〕 適時指示する。

## 教育史

磯野昌蔵

わが国における青年期教育の発達を検討する。

## 宗教教育

櫻井秀雄

宗教教育の原理を究明し、できるだけ実証的な調査資料によって宗教意識をさぐり、これに対する具体的方法について考察し、家庭・学校・社会教育のそれぞれにおける宗教教育の意義と実際を研究する。

〔教科書〕 日本宗教学会「宗教と教育に関する委員会」編『宗教教育の理論と実際』  
1985・10 (鈴木出版) 刊 ¥5,800

## 教育関係法規

船木正文

本講義のねらいは、教育基本法を中心とする現行の教育関係法規を体系的に概観することにある。その際、今日生起しているさまざまな教育問題について具体的に取

上げ、教育関係法規にてらして説明していく予定である。

〔参考書〕 『解説教育六法・昭和62年版』(三省堂)

## 図書館学Ⅰ

山崎慶子

児童・生徒の学習活動や教養・趣味を豊かにするには教科書の他に各種の資料を必要とする。最も有効適切な資料は何か、どうしたらそれらをすべての生徒に提供できるか。増大する一方の出版物や各種の情報か溢れる現代社会において、それを選択し活用する力を高めるにはどうしたらよいか。また人間形成に役立つ読書のあり方などの追求を、教育の場の中心ともいべき学校図書館活動として考察していきたい。さらに生涯教育の場である公立図書館の使命や役割への理解を深めるようにしたい。

前期の講義内容は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」を、後期は「学校図書館の利用指導」と「読書指導」である。

〔教科書〕 図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』(学芸図書)

## 図書館学Ⅱ

源昌久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、「図書の整理」、「図書の選択」、「図書以外の資料の利用」が主として論ぜられる。前期には、図書の目録・分類(資料組織法)に関する概念的フレーム・ワークおよび組織化のための基本的規則についてのべる。後期には、学校図書館での図書選択の基準、方法、目的を講述し、つぎに、図書以外の資料の利用方法を解説する。

〔教科書〕 図書館教育研究会『新編学校図書館通論』(学芸図書)

日本図書館協会目録委員会編『日本目録規則 新版予備版』(日本図書館協会)  
日本図書館協会目録委員会編『日本目録規則 新版予備版 追録および修正』  
(日本図書館協会)

## 博物館学Ⅰ

倉田芳郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ(見学)」ならびに「実習Ⅳ(特講)」と有機的に関連をもたせるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午



後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組むうえで、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難かしいかもしれない。本講義は博物館の基本のみを講ずるので、2単位である。社教主事の資格を取得しようとする方は、「博物館学Ⅱ」（2単位）も履修することが必要である。受講方法について、誤りの無いようにしたいので、4月第1週の時間は必ず出席すること。

## 博物館学Ⅱ

熊野正也

地域における歴史博物館をとりあげ、数々の実践を通じてその展示と諸活動の方法について講述する。

## 博物館実習Ⅰ（館務）

倉田 芳郎・清水 潤三

博物館で10間以上の学芸員についての実習を行う。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。欠席した場合は来年度履修することになる。

## 博物館実習Ⅱ（収集）

倉田 芳郎・所 理喜夫  
葉貫 磨哉・太田喜美子

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。実習の種類・時期は下記の予定である。このうちの、1つを履修すればよい。

1. 考古学発掘調査 7月中旬から8月中旬
2. 民俗調査 8月下旬と2月中旬
3. 文書・石仏調査 9月下旬
4. 石仏調査 10月上旬
5. 遺跡分布調査 2月中下旬

## 博物館実習Ⅲ（見学）

倉田 芳郎・太田喜美子

学芸員課程の必修科目である。

都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足

である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習の組分けを決定する関係上、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第1週に出席すること。

## 博物館実習Ⅳ（特講）

（58年度以前入学生適用）熊野正也

博物館における専門職としての学芸員には、博物館側からと利用者側からとは一体何がのぞまれているか。過去・現在の学芸員のあり方から、これからの学芸員は具体的にどうあるべきかを追究する。と同時に、できるだけ実務を体験できるよう配慮していきたい。

## 視聴覚教育

赤堀正宜

学校教育や社会教育における視聴覚教材の利用について考える。

学校教育番組や社会教育番組の利用は、教育方法・内容の革新とつながり、教育工学の一部となっている。視聴覚教育の原理・具体的な利用方法、その教育的効果を明らかにしていく。

〔参考書〕 大内茂男・中野照海他編『視聴覚教育の理論と研究』（日本放送教育協会）

## 日本文化史Ⅱ

圭室文雄

日本文化史の流れのなかで、その支柱となっているのは宗教である。とくに時代の思想の主導を宗教がになった時期としては、大別して三つある。第一は鎌倉時代、第二は江戸時代、第三は明治時代である。そこで本年はこの三つの時期に焦点を合せながら、史料に拠って、先人達の生きざまを検討してみたいと思う。そして、その中から日本人の歴史における価値観をあきらかにしたい。

〔教科書〕 池田・大浜・圭室編『日本人の宗教の歩み』（大学教育社）

〔参考書〕 笠原一男編『日本宗教史Ⅱ』（山川出版社）

## 印度仏教文化史

奈良康明

いかなる社会であれ、その成員により獲得され、習熟

され、伝達されてゆく諸観念や慣習、儀礼等がある。かかる生活様式の統合的な体系を文化と呼んでいい。仏教の研究においても、例えば涅槃を中核におく高次の教理の研究も仏教文化の一側面を明らかにするものであることは疑われない。そうした高いレベルの観念や行法を一方におきつつ、他方に、各種民間信仰的な諸観念や儀礼、生活慣習等、日常レベルの生活様式を考察し、且つ、両レベルのかかわりあいを見るところにはじめて仏教文化が全的なすがたでとらえられるのではないか。本講座はこうした視座からインドの社会、宗教とかかわらせつつ、仏教文化の歴史にアプローチをこころみる。

〔参考書〕 辛島 昇編『インド入門』（東大出版会）  
奈良康明『仏教史Ⅰ—インド、東南アジア—』（山川出版）

## 西洋文化史Ⅰ

椽 川 一 朗

西洋都市史とくにドイツ中・近世都市史の講述。

## 西洋文化史Ⅱ

三小田 敏 雄

今年度はギリシア・ローマの文化を取り上げる。今日われわれがギリシア文化と呼んでいるものは、いつごろから現われたのか、そしてその特質はどんなものか、をできるだけ翻訳史料をあたりながら調べ、遺跡や彫刻を通じて確認してみる。ローマ時代にオリエントの影響が増大し最後にキリスト教の伝播によって、中世文化が生まれるところまで講義する予定である。教科書および参考書は開講時に指示する。

## 仏教美術

林 良 一

インドにおける古代初期よりガンダーラ期の仏像成立にいたるまでの展開および仏教美術の図像学について講述する。寺院の遺跡や仏菩薩等の尊像を、現地撮影のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』（時事通信社） ¥2,200

## 現代美術

宮 崎 克 己

1870年代のフランス印象派成立前後の様々な問題について考える。印象派を詳しく論ずるだけでなく、印象派が西洋の長い美術の伝統の中でどのような意味を持っていたか、また印象派が現代美術にどのような新しい道を拓かせたかを幅広く論ずる。出席者には、適宜、美術館、展覧会の見学を要求する。

## 禅美術

竹 内 尚 次

禅美術の本質と虚像とは、紙一重の差である。その本質を探ることは難しいが不可能ではない。そこに在る高貴な精神性、つまり詩心を見て取ることである。

東洋美術としての日本美術の大半は佛教芸術で占められる。その歴史上の展開は、古代仏教美術・法隆寺金堂壁画を中心とする一群、平安時代の密教美術・兩界曼荼羅、浄土教美術・鳳凰堂板絵、宮廷美術絵巻などがある。

これに次いで、禅宗東渡による哲学性の深い禅林美術が鎌倉室町時代に展開する。私たちは、心の中心に禅林美術をおいて、他のジャンルと対比し乍ら、そのなかに内在するものを参尋したいと思います。欲を云へば、古美術作品の取扱いなどの実習を別な時間で行いたい。

〔教科書〕 竹内尚次著『近世禅林美術』（至文堂）

〔参考書〕 竹内尚次著『群馬の思想（風外）』（あさお社）

玉村竹二著『夢窓国師』（平楽寺書店）

## 美術史概説

林 良 一

中国の南北朝より朝鮮の三国時代を経て、わが国の飛鳥期の仏教彫刻にいたる様式的展開について講述する。各地の寺院遺跡や遺品などのカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

## 西域美術史

林 良 一

アフガニスタンより東西のトルキスタンにいたる西域美術を、仏教美術の東伝を中心に、各地の遺跡および遺品について講述する。現地の遺構や遺品のカラー・スライドを映写し、視覚的に理解を深めるように努める方針である。

〔教科書〕 林 良一著『ガンダーラ美術紀行』（時事通信社） ¥ 2,200

### 考古学概説 I（日本）

倉田 芳郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

### 考古学概説 II（外国）

量 博 満

中国および東南アジア地域における考古学を概観する。必ずしも時代を逐って祖述するのではなく、研究史を踏まえたのちは、当該地域の先史学ないし考古学における今日の問題点をあげ、その吟味や検討を行うことによって、考古学という科学を理解しよう。なお、地域研究が人類史上の一般則の形成にどうかかわり、どんな寄与をなすのか、と考えるのも講師の問題意識のひとつである。参考書は、講義中に適時示されよう。

### 考古学特講 I

高 浜 秀

ハンガリーから中国の北方オルドス地方に至るユーラシア北方草原地帯には、紀元前8～7世紀以後、スキタイ系騎馬遊牧民文化、あるいは初期遊牧民文化と総称される一連の文化が広がっていた。講義では、これらの文化に関する諸問題を扱う。今回は特にオルドスの青銅器文化を中心に予定である。

### 考古学特講 III

川 又 正 智

メソポタミア青銅器時代を中心に西アジア考古学の基礎的知識を学ぶ。あわせて西アジアからみたアジア史の流れを考えたい。

〔参考書〕 授業中に紹介する。

### 日本民俗学

山 折 哲 雄

柳田国男と折口信夫の民俗学について考察し、現代文化の諸相に光をあてる。

〔教科書〕 山折著『神と仏』（講談社新書）

### 仏教民俗学

和 田 謙 寿

集会や通夜・法事などに臨んだ際、必ず仏事などに関する質問を受けることがある。葬送習俗や霊魂に関する事柄、法名のつけ方や焼香の仕方、墓の建て方や年忌供養のしきたり、時には寺院の成立とその発展過程、野ぼとけの由来や伝説など、その質問の内容も色々である。このような時、相手に納得のつくような説明が出来たらさぞかし喜んでもらえる事であろう。このような時の心構えとして是非とも仏教民俗学の知識を身につけて置くことにしよう。住職をはじめ、郷土史や文化財の研究に従事しようとする者にとっては必須の学問であると言える。

〔教科書〕 和田謙寿著『仏教の地域発展』（仏教民俗研究会） ¥ 2,900

### 宗教人類学

佐々木 宏 幹

宗教がある社会においてどのような意義と役割をもつかという問題を考察することを主眼としながら、宗教と人生観・世界観との関係、宗教儀礼の象徴的性格などについて、とくに言及したい。

### 考古発掘実習

寺 社 下 博

野外における考古発掘実習を行なう。20日間以上参加することが必要である。年度始めの講義時間に必ず出席のこと。

## 社会福祉概論

岡田 真

「いま一つ別の資格単位」としてでなく、自分の専攻の「関連科目」として学んでほしい。あなたの専攻する学問と福祉学とは「立体交差」（下記岡田著作P.10）をすることは必ずのものだ。

本講は、社会福祉のしくみ、分野などについて論及し、社会福祉の諸制度の現状と課題について、一応の体系的な理解ができるように指導する。この点は、福祉学専攻一年生の同一学科目と変わらないが、本時は、高学年の、しかし専攻生ほどには数多く福祉学学科目を履修できない人たちのための時間である。そこで、以上に加えて、下記のことにつとめたい。

1. 本講座の各学科目相互の関連の明確化
2. あなたの主専攻の、専門福祉職務への役立て方
3. 「社会福祉方法総論」として専攻生には必修になっている内容のアウトライン

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編著『ソーシャル・ワークを考える』（川島書店）  
岡田 真『コミュニティ・ワーク論』（大明堂）

〔参考書〕 太田義弘・佐藤豊道編『ソーシャル・ワーク』（海声社）

欠席したらその週のうちにノートを補っておくこと。  
教科書の章を追っての教科書解説的な授業は行なわない。

## 障害福祉論

原田 信一

主として、わが国における心身障害児（者）福祉の発展過程をその淵源にさかのぼりつつ講じたい。なかでも、とくに、思想面（社会的規範）と政策面等の二面的視角にたち、原点を探るとともに、さらに欧米先進諸国のそれとの対比から、わが国の心身障害福祉の見直しをはかり、新たな課題構築の素としてもらう。

〔教科書〕 星野他編『障害福祉論入門』（改訂版）（有斐閣）

〔参考書〕 林 邦雄他著『心身障害児（者）福祉』（田研出版）

## 社会福祉実習 I

岡田 真

### 実習施設機関の開拓期間

教務部窓口の開拓の資料があるし、担当教員等も積極的に協力する。

### オリエンテーション期間

1. 「明日の福祉」（NHK）の視聴方法の指導
  2. 自分の実習先につき、役割、機構などの下調べ
- フィールド期間

電話相談を遠慮なく。402 研究室は東京 418 — 9292、助手室は 9301。

### フィールド終了後

実習ノートを基に助言、共同討議。

### 注意

実習は、あなたの固有の専門を、福祉学との関連において検証できる場である。USA等の福祉学諸大学院は実習を特に重視している。プロ意識をもって履修してほしい。

- 〔参考書〕
- 1) 橋本泰子他編『社会福祉実習』（相川書房）
  - 2) 太田義弘・佐藤豊道編『ソーシャル・ワーク』（海声社）
  - 3) 『国民の福祉の動向』（昭和 59 年版、厚生統計協会）
  - 4) 『社会福祉六法』（第一法規）
  - 5) なお、「社会福祉実習」に関する資料コーナーがあるので活用してほしい。

## 社会福祉法制

小林 弘人

本講義は、憲法 25 条を具体化する社会保障・社会福祉に関する法を検討・整理・体系化することを目的とする。前期の前半は『社会学研究』15 号所収の「西ドイツにおける社会行政法」を資料にして、主として西ドイツにおける社会福祉に関する法の問題点を検討する。この検討を終えた後は、教科書『社会福祉の法を考える』に準拠して、当初の目的達成のための講義を行う。

〔教科書〕 小林弘人編著『社会福祉の法を考える』（川島書店・61 年 3 月刊行予定）

〔参考書〕 小川政亮著『社会事業法制』（ミネルヴァ書房）

## 公的扶助論

近藤 功

開講時に指示する。

## 児童福祉論

原田 信一

今日、児童をめぐる法律・制度は整備され、社会福祉分野においても、いちじるしい進歩をみた。しかし、現実面では必ずしもそうとばかりはいいきれない。つまり、日々、目まぐるしく激動する社会で、引切り無しに生起する種々の児童福祉侵害問題に対応しきれない状態が今日の姿である。児童の人権無視にはじまり、公害・家庭崩壊・機能低下など限りなく出現し、まさしく児童福祉の危機的様相をみせている。そこで、本講においては、児童福祉を広い視座から考察し、児童への理解と併せて、児童に関連ある法制度にも言及しさらに、狭義の児童福祉事業（児童福祉法など）の関連にもふれ講じてゆきたい。

- 〔教科書〕 原田信一『現代児童福祉学』（学文社）  
〔参考書〕 高橋重宏編『児童福祉を考える』（川島書店）

## 老人福祉論

奥山 正司

老後・老人問題は、社会の変化を背景にして、その発生するプロセスと性格によって、大きくわかれる。すなわち、それは、老化に伴う経済的ニード、身体的ニード、精神的ニードとそれに対応する家族的扶養の不十分さからくる問題である。老人福祉対策は、それらの問題に対して、施設福祉対策と在宅福祉対策が、不十分ではあるが対応している。

講義の内容は、上記の点をふまえながら、老人問題の発生過程をマクロな視点とミクロな視点から明らかにし、そのうえで、老人福祉対策の過去から現状、さらには今後のあり方を考えることにする。

- 〔参考書〕 随時紹介する。

## 社会保障概論

藤井 康

先ずわが国制度を把握するため、その主要な所得保障（年金保険、公的扶助、児童手当など）、医療保障その他について概観し、それぞれの問題点を挙げる。

ついでこれらをふまえて、その生成と発展に視点において、欧米諸国をも含めて、社会保障の体系、社会経済的条件、財政、国際比較などについて、論点を進める。

- 〔教科書〕 小沼正・地主重美・坂本哲哉編『社会保障概論』（川島書店）  
〔参考書〕 社会保障研究所編『社会保障の基本問題』（東京大学出版会）

社会保障研究所編『経済社会の変動と社会保障』（東京大学出版会）

## 地域福祉論

岡田 真

CO（コミュニティ・オーガニゼーション）に時間配分の重点を置く。COはケースワークやグループワークと並んで福祉三大技術の一に位置するものであるから、「社会福祉方法総論」と極力同時に履修すること。

COの実体は、「地域の根廻し」の技術である。ただし、その適用はコミュニティ・ケアの展開、福祉計画充実などのためにであらねばならない。

他大学には「地域福祉論」で、福祉現実の地域的分析を行なう所もある。そして、福祉現実の科学的認識なくしては、ソーシャル・ワークはカラ廻りをしてしまう。だが本学ではその指導は都市社会学の一部で行なう。

公私の専門福祉活動は、自治体の公的計画に組込まれてこそ、オーソライズされるわけだが、ソーシャル・プランニングについても、都市社会学で講ずる。

従って同じ担当者の都市社会学を、ともに知ることが望ましい。（もちろん本講義だけを履修する人に不利や理解困難が生じないように細心の工夫はするが）。

- 〔教科書〕 岡田 真『コミュニティ・ワーク論』（大明堂）  
〔参考書〕 岡田 真『都市化日本の学歴社会』（大明堂）  
太田義弘・佐藤豊道編『ソーシャル・ワーク』（海声社）  
他に最新の文献や入手困難な文献（コピーによる）

## ケースワーク論

高橋 重宏

ソーシャル・ワーク実践の専門技術の1つであるソーシャル・ケースワークについて、まず、ケースワークの意義、定義、歴史的展開過程、原理、ソーシャル・トリートメント過程、関連理論などについて論及する。さらに、ケースワークの臨床事例を紹介し、ソーシャル・ケースワークとは何かを、一応体系的に理解できるようにとめたい。

なお、後期の臨床事例研究では、小グループでのディスカッション、発表など、学生の主体的参加を求めるので留意しておくこと。

- 〔教科書〕 久保絃章・高橋重宏編著『ケースワークを考える』（川島書店）  
仲村優一編『ケースワーク教室』（有斐閣）

## グループワーク論

松本栄二

開講時に指示する。

## 社会福祉事業発達史

林千代

いつの時代にも、生活の不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕 今岡他編『社会福祉事業発達史』（ミネールヴァ書房）

〔参考書〕 随時紹介

## 母子福祉論

林千代

私は、婦人問題の視点から婦人福祉を組立てているが、それは、性差別を根底に婦人の生存や生活が不安定化する局面、その解決へのプロセス・施策が主な内容になる。そして、婦人の生存さえあやぶまれる状況の一つが母子家庭になった時なのである。それは、いわば婦人問題の集約であり、施策の最も具体的な対応がせまられる状況である。このような問題意識に立って、講義のあらすじを示すと次のようになる。(1)婦人(母子)福祉への歩み、(2)母子家庭とは、(3)母子家庭の生活実態とその困難、(4)母子福祉施策の現状と問題点。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時紹介。

## 医療社会事業論

春見静子

1. 医療制度の中での医療社会事業の位置づけを保険所、病院、施設それぞれについて考える。

2. 疾病がもたらす心理、社会的負担について考察する。
3. 援助を行うための社会資源にはどのようなものがあるか。関係法規とその適応を検討する。
4. 医療社会事業の方法について、ケースワーク、グループワーク、コミュニティワークの実際を学ぶ。  
〔教科書〕 野村茂他『医療社会事業の実際』（光生館）

## 社会福祉方法総論

高橋重宏

今日の社会福祉は、福祉サービスの提供者と利用者のあいだの対人的・非貨幣的支援活動のもつ比重が高まっている。本講義は、社会福祉実践の専門技術(skill)の基礎について学ぶことが中心となる。

具体的には、ソーシャル・ワークの基礎知識及び関連理論、歴史的展開過程、ソーシャル・ワーカーの専門性、現代社会におけるその独自の社会的機能等を明確化させつつ、ソーシャル・ワークについての入門的解説を中心に展開したい。さらに、臨床事例を用いながら、ソーシャル・ワーカーになるための基礎理解を深め、ソーシャル・ワーカーとしての専門職業的倫理観や基本的姿勢についても追求したい。

〔教科書〕 高橋重宏・宮崎俊策・定藤丈弘編著『ソーシャル・ワークを考える』（川島書店）

〔参考書〕 必要に応じて指示する。

## 社会福祉管理運営論

重田信一

わが国における社会福祉実践の実態分析から、福祉政策、行政、財政、福祉施設運営、地域住民の福祉活動のあり方等を検討し、その総合化の方向について考察を加えたい。なおこの講義においては、その前提としてのわが国における社会福祉実践の時代的展開の特徴、および欧米の類似制度・実践との比較検討もあわせて行いたい。

本講義の履修は、これから社会福祉の学習に入ろうとする学生諸君の事情も考察しておるので、念のため附記しておく。

〔教科書〕 プリント、(教室にて無償配布する)。

〔参考書〕 多数あり、講義の進行に沿って紹介する。

## リハビリテーション論

原 田 信 一

リハビリテーション領域のなかで、いちじるしく遅れをみせているのが、社会リハビリテーションであるといわれる。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも困難な問題を抱えていることがいちじるしく遅滞をもたらす原因になっているといわれる。そこで本年はとくに、社会リハビリテーションに視点を絞り、その基本問題をふまえ、社会・文化的環境を考察し、政策と実践的方法論、それらを支える隣接科学面ならびにリハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕 講義ノートによる。

〔参考書〕 随時指示する。

## 社会教育概論

磯 野 昌 蔵

社会教育とは何かを次の諸点から検討する。

- 社会教育制度
- 学校教育と社会教育
- 社会教育関係団体

## 社会教育方法論

村 山 輝 吉

前年度に引きつづき、戦後のわが国における社会教育実践の代表例について方法論構築の観点から検討する。

## 社会教育行政財政

酒 匂 一 雄

- I. 社会教育の本質と社会教育行政
- II. 戦前の社会教育行政の歴史
- III. 戦後社会教育の理念と制度
  - (1)社会教育法制 (2)社会教育施設 (3)社会教育職員制度など
- IV. 社会教育行政を動かすもの
  - (1)経済政策と社会教育政策 (2)社会教育行政と住民参加
- V. 生涯教育と社会教育行政
- VI. 社会教育行政の動向と課題

〔教科書〕 必要によりプリント、資料を用意する。

〔参考書〕 確井正久編『新社会教育』（学文社）  
小林文人他『社会教育ハンドブック』（改訂版）（エイデル研究所）  
『社会教育行政必携』（昭和60年版）

## 教育社会学

熊 谷 一 乗

子どもが発達し教育が行われるさいに社会的要因は、どのように作用するのか、また教育は社会のなかでどのような機能をはたしているのか、といった点を明らかにすることをねらいとして、講義をすすめる。講義の内容は、①子どもの発達と社会、②集団の教育力と子ども、③教育と社会、④学校と子ども、という四つの領域から成り立っている。全体を通じて子どもの発達と教育の社会的連関を解明し、現代の深刻な教育上の諸問題の解決に取組むための視点と方法を理解してもらうことをめざしている。

〔教科書〕 熊谷一乗著『子どもの発達と社会——教育社会学の基礎——』（東信堂）

〔参考書〕 熊谷一乗著『現代の教育原理』（東信堂）

## 社会心理学

坪 井 健

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会学的アプローチと心理学的アプローチが並存しており、必ずしも統一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理（行動）に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理（行動）に関心を持ち、社会過程を重視する社会学的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な解明を目的とした。

〔参考書〕 講義の中で指示する。

## 社会教育施設

村 山 輝 吉

1. 社会教育施設とは何か
2. 社会教育施設にかかわる人々
3. 公民館
4. 図書館
5. 博物館
6. 社会体育施設
7. その他の社会教育施設・関連施設

## 8. 社会教育施設をめぐる動向と課題

### 児童文化

富田博之

「児童教化」の現代的形態としての〈子ども文化（児童文化）〉の成立過程（歴史）と現状を探り、併せて〈子ども文化〉の現場で働く人のための実習を行なう。

〈子ども文化〉の歴史では、主として、子どものためのコミュニケーション・メディアの発達史を扱い、その現状では、主として、子どものためのマス・コミの現状について学習。

実習は、身体とことばによる表現とコミュニケーションの方法の初歩を学習する。

〔参考書〕 講義や実習の中で指示する。

### 青少年問題研究

和田謙寿

校内暴力や家庭内暴力、薬物乱用など、年々少年の不良化や犯罪が増加していることは誠になげかわしい次第である。国家や地方公共団体はこれに対応して万全の策をつくっているが、焼石に水の現状である。この種の問題は理論だけで済ませられるものではなく、実際の面からの考察が必要である。今年は特に中学校および高等学校の教師をめざす者、ならびに青少年指導者を志す人々を対象として、その理論と現実との両者を見つめて考察する事にする。更に生活指導教諭を希望する者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一方法として考えられるので、その旨を授業のはじめに申し込まれる事を希望する。

〔教科書〕 和田謙寿著『少年補導の研究』（全防連）  
¥1,200

### 青少年指導演習

和田謙寿

将来、青少年指導者を希望する者、つまり、社会教育主事や社会福祉主事、少年指導委員・補導教諭などの業務に従事しようとする人たちには是非とも必要な講座である。本年は少年の非行問題を中心に授業を展開して行きたいと思う。特に教師になった場合は専攻をした学問は当然のこと、受持ち生徒の生活指導にも多大の比重で尽くさねばならぬので、非行対策の問題は重要な課題となる。

更に少年の問題に興味を持ち、研究しようと心掛ける者は、青少年問題研究室の研修生として入室されるのも一つの方法であろう。

### 社会教育演習

上岡安彦

秋期に埼玉県川口市内の公民館、図書館、幼児会館、青少年会館、婦人会館、児童文化センター、視聴覚ライブラリー等で一週間の社会教育実習を行います。

実習前は、社会教育実践記録として『成人教育への挑戦』を読み、実習後にはマクロの視点から『生涯教育』を読みます。

〔教科書〕 永田良行『成人教育への挑戦』（全日本社会教育連合会）¥750  
エットーレ・ジェルビ『生涯教育』（東京創元社）¥1,500

### 教育評価

大浜幾久子

生徒の発達を正しく測定し、評価することは、本来、教師の教育実践の中で重要な仕事である。教師は、評価を通して、生徒のつまづきを発見し、自らの実践を反省する。また生徒も、評価を手がかりとして、以後の自分の学習の方向を考える。ところが、教育評価ということばから多くの人がまず思い浮かべるのは、学力テスト・偏差値・通信簿・内申書等であり、これらは、大多数の父母・教師そして生徒にとって、今日の学校教育の矛盾の象徴として映っている。では、教育評価の本来の機能をとりもどすにはどうしたらよいのだろうか。教育評価の理論の歴史をたどり、また教育測定・評価の技法を実習を含めて学ぶことにより、この問題を考えていく。

〔参考書〕 梶田毅一『教育評価』（有斐閣双書）  
¥1,800  
中内敏夫・三井大相編『これからの教育評価』（有斐閣選書）¥1,400

### 成人指導及青少年指導

酒匂一雄

子どもの発達にとって、家庭・地域のありかたを中心に講義する。

- I. 子どもの発達と家庭・地域。①遊びと性格・学力、②日常生活と学力の関連。
- II. 「地域の教育力」。①青少年の生活構造の変容、②中学生の発達課題と社会教育活動、③問題行動の克服と地域、④地域の教育・文化活動と「地域の教育力」。
- III. 「学校外教育」の展開。①「学校外教育」とは、②公民館で、③児童館で、④学童保育で、⑤学校と学校外教育、⑥青少年施策の動向から。



青年・成人の指導方法。

〔教科書〕 酒匂一雄他『子どもの発達と日常生活  
——学力と人格を育てる』（ぎょうせい）  
その他必要によりプリントを用意する。

## 生活指導

秋山達子

現代のおとなたちが、おとなの合理的な考えで、子どもたちへの対策を考えれば考えるほど、結果は逆になるような気がします。

想像力も育てずに自立させられてしまう子どもたちは、自分の不満や抑圧された本能的衝動の結果を、既成の学問の理論を借りて説明し、その解釈ですべてを割り切つて、その中に逃げこみ、実際に自分の心に問い直すことにしていないのではないのでしょうか。

〔参考書〕 秋山さと子『ユング心理学』（講談社現代新書）

## 教育哲学

汐見稔幸

本年度はアメリカの教育哲学者J. Deweyの教育思想を検討する。教育についてややつこんで教えてみたいと思う人の参加を歓迎する。ゼミ形式で、四年生が多い場合は、日程的に工夫したい。

〔教科書〕 『学校と社会』および『民主主義と教育』（岩波文庫）

## 教育調査

大塚雄作

教育という営みは、生徒が抱える問題点を把握するところから始められる。その際に、さまざまな観点から、いろいろな調査が行われることになる。たとえば、生徒の授業の達成度や学力を知るために行われるテストや、生徒の家庭環境・性格・学習方法などを知るための質問紙調査などがその典型的な例としてあげられる。ここでは、まず、教育現場で最もよく利用されている「テスト」に関して、その作成法・得点の見方・標準的なテストの種類などについて概観し、さらに、それと比較しながら、質問紙調査などのその他の調査方法について触れていく。

〔参考書〕 「調査と測定」（新曜社） ¥2,800

## 教育学特講

熊谷一乗

講義は、現代教育の諸問題というテーマで行われる。現代の学校教育が当面する重要な問題として、子どもの問題行動、差別・選抜、同和教育の問題を人権尊重、人間の尊厳の確立の観点からとりあげ、これらの問題の背景と発生のメカニズムを検討し、解決の方途について論ずる。ついで教育改革に関する問題をとりあげて、各種の改革論を検討し、何がどのように改革されなければならないかを考察し、現代の教育問題に対する理解を深めることをめざす。

〔参考書〕 熊谷一乗著『学制改革の社会学』（東信堂）

## 政治学原論

福岡政行

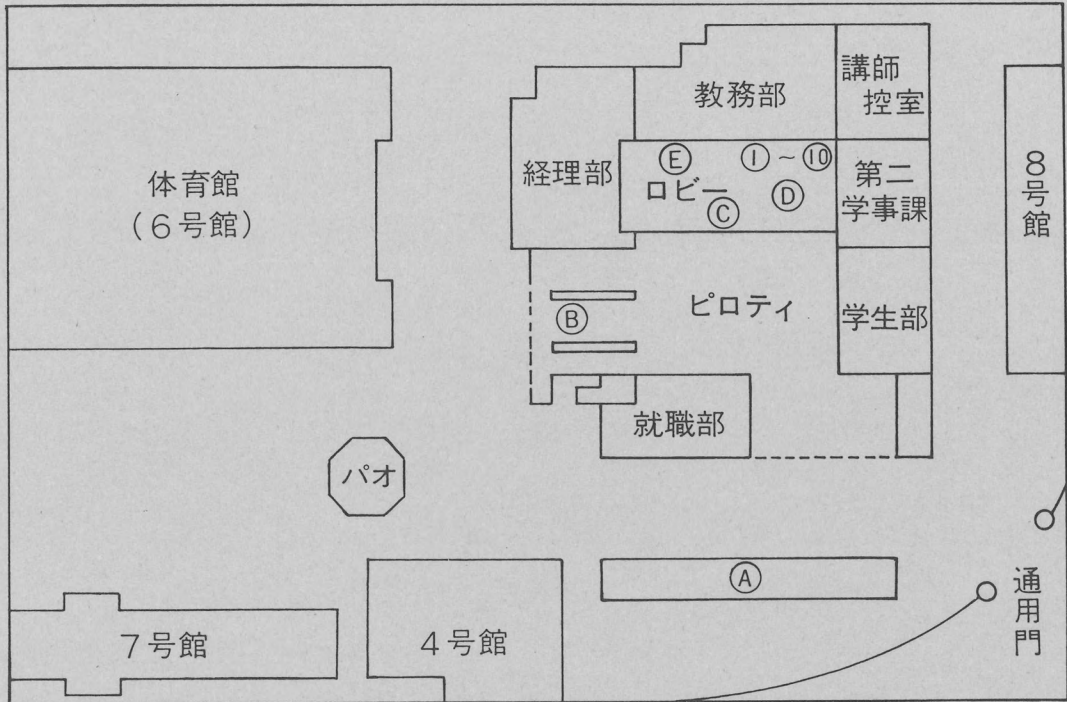
開講時に指示する。







## 教務部窓口及び掲示板案内



- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>①教職課程<br/>学校図書館司書教諭講座</li> <li>②博物館学講座<br/>社会福祉主事講座<br/>社会教育主事講座</li> <li>④証明書(教務関係)申込受付・発行<br/>健康診断書および<br/>在学証明書は学生部<br/>諸証明書申込用紙は経理部前にあります。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>⑤諸届願 (休学・退学・復学・死亡<br/>改氏名・本籍地変更・保証人変更<br/>保証人住所変更・聴講)</li> <li>⑥大学院関係・留学生関係<br/>学部演習 (仏教学部・経済学部)<br/>法学部・経営学部<br/>卒業論文(仏教学部・文学部)</li> <li>⑦時間割変更・休講・外国語指定届<br/>卒業証書・転部科</li> <li>⑨履修・試験・成績・学業相談</li> </ul> |
|--|---|

- 
- ④第1 掲示板(表面)……………公示・告示, 学生部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他
  - 第2 掲示板(裏面) —臨時掲示板—  
……………教務部関係連絡事項(12月～3月), 就職部関係連絡事項(9月～11月)
  - ⑤第3 掲示板—臨時掲示板—  
……………教務部関係連絡事項(12月～3月), 就職部関係連絡事項(9月～11月)
  - ◎休講掲示板
  - ◎授業時間表カウンター
  - ◎大学院・留学生関係掲示板

